

令和3年度

# 久留米市教育施策要綱案

～ 未来の学び、未来の教育へチャレンジ ～



感染症を防止し、差別や偏見を許さない

久留米市教育委員会



## はじめに

久留米市は「水と緑の人間都市」を都市づくりの基本理念に、「誇りがもてる美しい都市 久留米」「市民一人ひとりが輝く都市 久留米」「活力あふれる中核都市 久留米」の3つの都市像を目指す都市の姿として掲げ、戦略性と協働性を基本視点とした都市づくりを総合的に進めています。

また、この都市の姿の実現に向けて、令和2年度から7年度までを計画期間とした「久留米市新総合計画第4次基本計画」を策定し、持続的発展に向けた都市づくりを進めているところです。

こうした中、令和元年度に「久留米市教育に関する大綱」が策定されました。大綱は「“学び”が人をつくり、“地域”が人を育み、輝く未来を創る」を基本理念とし、学校教育の基本方針「「生きる力」を育み、元気と笑顔があふれる子どもを育てる教育」と社会教育の基本方針「生涯学び、活躍できる環境を整え、心豊かな市民生活をおくることができるまちづくり」を掲げ、施策の方向性を定めています。

併せて、久留米市教育委員会では、第4次基本計画及び大綱に掲げる基本理念と目指す都市の姿の実現に向けて、令和2年度から7年度までを計画期間とする「久留米市教育振興プラン」を策定し、「ともに未来を創る「くるめっ子」の育成」を目標に、施策目標の達成に取り組んでいきます。

また、新型コロナウイルス感染症の収束が未だ見通せない中、学校と教育委員会が協力し、児童生徒が心と体の健康を保持しながら意欲的に学習ができるよう引き続き取組を進めていきます。

加えて、教育行政の推進に当たっては、市教育委員会の活性化を図るとともに、市長部局はもとより、福岡県教育委員会や関係機関等との連携を図る必要があります。

久留米市教育委員会では、これらの基本的な考え方を踏まえ、教育における具体的な施策方針として「令和3年度久留米市教育施策要綱」を定めました。今後、本要綱に基づいて、市民の理解と協力を得ながら教育施策・事務事業に取り組んでいきます。

なお、令和3年度は、引き続き新型コロナウイルス感染症対策及び財政環境の悪化等により、本要綱に掲げる施策の内容等が変更になる場合があります。

# 目 次

## 第 1 章

教育施策の重点課題と対応方針 .....	1
----------------------	---

## 第 2 章

### 教育行政の主要施策の展開

#### I 「生きる力」を育み、元気と笑顔があふれる子どもを育てる教育

教育振興プランの推進 .....	3
重点 1 学びをつなぐ授業 .....	4
重点 2 楽しい学校 .....	7
重点 3 笑顔の先生 .....	9
重点 4 協働する学校・家庭・地域 .....	11
その他の施策 .....	12

#### II 生涯学び、活躍できる環境を整え、心豊かな市民生活をおくることができるまちづくり

1 生涯学習・社会教育の推進 .....	14
2 歴史遺産の保護・活用 .....	15
3 スポーツの推進 .....	17
4 市民の自己学習の場としての図書館づくり .....	19

#### III 新型コロナウイルス感染症対策 ..... 20 |

#### IV 教育施策の重点事業 ..... 23 |

## 第 3 章

教育行政資料 .....	60
--------------	----



コンピュータ端末を使った授業

### 1 学校教育

#### 総括的な考え方

令和3年度は、令和2年3月に策定した「久留米市教育に関する大綱」と「久留米市教育振興プラン」の2年目に当たります。

プランの1年目に当たる令和2年度は、不登校対応や学校安全への支援等において成果が見られた一方で、学力向上をはじめとする授業改善や教師力向上等の取組では課題が見られました。

このような状況を踏まえ、プランに掲げた4つの重点である「学びをつなぐ授業」「楽しい学校」「笑顔の先生」「協働する学校・家庭・地域」の実現に向けて、これまでの課題改善や新しい目標達成のための取組を着実に進めます。

#### ICT活用による教育の充実

国は、Society5.0時代の到来を見据えたGIGAスクール構想を打ち出し、学校教育のあり方を大きく変える方針を示しました。

本市では、令和2年度より児童生徒1人1台のコンピュータ端末と高速大容量の校内通信ネットワークを整備し、「誰一人取り残さない個別最適化された学び、協働的な学び」を実践するための環境を構築しました。今後、教育ICTの効果的な活用を図り、充実した授業づくりを広く学校現場に浸透させていくとともに、児童生徒や保護者の理解促進に努めます。

#### より良い教育環境、快適で安全安心な学校施設の整備等

久留米市立小学校小規模化対応方針に基づき、小学校の小規模化への対応として、学校の統合を進め、より良い教育条件・教育環境の整備を図ります。

また、久留米市学校施設長寿命化計画に基づき、学校施設に求められる機能・性能を確保しつつ、中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減及び支出の平準化を図りながら、学校施設の老朽化対応や安全衛生環境の確保を計画的に進めます。

さらに、教職員の働き方改革や教職員研修の充実を通して、教職員の指導力の向上を図ります。

#### 新型コロナウイルス感染症対策

学校では3密の回避に努めながら「感染防止」「学びの保障」「元気支援」の3つの柱で、児童生徒の学習保障やきめ細かい心のケア、感染者等への偏見や差別の防止などの感染症対策に取り組めます。

## 2 社会教育

### 総括的な考え方

取組の推進に当たっては、厳しい財政状況を踏まえ、効率的・効果的な事業実施に努めるとともに、子どもの貧困対策や青少年の健全育成等の視点に留意し、関係部局や様々な関係機関と緊密な連携を図りながら、協働した取組を進めていきます。

### スポーツ

久留米アリーナなどのスポーツ拠点施設等を最大限活用し「文化芸術、スポーツを生かしたまちづくり」の実現に向けて、多くの人々が集い、市民が愛着や誇りを感じることができるよう魅力ある事業を戦略的に進めるとともに、久留米市を対外的にアピールするMICE誘致に取り組みます。

また、2021年に延期となった東京2020オリンピック・パラリンピックについては、関係機関と連携し、感染症対策を徹底したうえでケニア共和国及びカザフスタン共和国の事前キャンプを受け入れます。

### 文化財・生涯学習等

久留米市が有する文化芸術資源や歴史遺産を、地域や関係機関との協働により磨き上げるとともに、これらを最大限活用し、久留米市の魅力向上と地域の活性化に繋げていきます。

なかでも、「久留米入城400年」記念事業として、雅楽公演会やシンポジウムの開催など市民の歴史的関心を高めるような魅力ある事業を展開します。

併せて、高齢者等を中心として市民の生涯学習ニーズが高まる中で、協働の視点を持ちながら、生涯学習や健康増進、図書館事業等の取組を進めていきます。

## 第2章 教育行政の主要施策の展開

### I 「生きる力」を育み、元気と笑顔があふれる子どもを育てる教育

#### 教育振興プランの推進

久留米市教育振興プラン（令和2～7年度）は、第1期から第3期までの久留米市教育改革プランの成果と課題を踏まえ「ともに未来を創る「くるめっ子」の育成」を目標に掲げています。

これまでの取組のさらなる充実・定着・拡大を基本方針として「学びをつなぐ授業」「楽しい学校」「笑顔の先生」「協働する学校・家庭・地域」を重点とし、施策を進めていきます。

また、4つの重点を支える土台として「人権・同和教育」「特別支援教育」「キャリア教育」を推進し、各重点の具体的な施策の展開が一貫性と関連性を持ったものとなるよう努めます。

なお、事業実施にあたっては、教育振興プランの重点に沿った施策とその評価指標を設定し、効果を検証していきます。

#### 教育振興プランの施策と評価指標

重点	No.	施策	評価指標
<b>重点1</b> 学びをつなぐ授業	1	「くるめ授業スタンダード」を活用した授業改善	全国学力・学習状況調査（小6・中3）において全国平均正答率を上回る 県学力調査（小5・中1・中2）と全国学力・学習状況調査において、県・全国を100とした場合の得点率が増加する
	2	個に応じた教育活動の充実	「授業の内容がよくわかる」と答える児童生徒の割合が増加する
	3	教育ICT活用・情報教育の推進	「コンピュータなどのICTを活用した授業を週1回以上やっている」と答える児童生徒の割合が増加する
	4	外国語教育の充実	「CEFR A1」相当以上の力を有する生徒の割合が全国平均以上になる
<b>重点2</b> 楽しい学校	1	不登校対応の徹底	不登校の出現率が全国平均以下になる
	2	いじめ問題対応の徹底	いじめ認知件数が全国平均以上になる
	3	学校安全への支援	日本スポーツ振興センター災害給付対象けが件数が減少する
	4	仲間づくりの視点を大切にした活動の充実	「学級みんなで話し合っ決めてしたことなどに協力して取り組み、うれしかったことがある」と答える児童生徒の割合が増加する

重点	No.	施策	評価指標
<b>重点3</b> 笑顔の先生	1	教師力向上への支援	「先生は、よさを認めてくれる」と答える児童生徒の割合が増加する
	2	業務改善への支援	「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれている」と答える児童生徒の割合が増加する
<b>重点4</b> 協働する学校 ・家庭・地域	1	学習習慣定着への支援	「家庭等で1時間以上学習する」「家で計画を立てて勉強している」と答える児童生徒の割合が増加する
	2	地域学校協議会提言の実働化への支援	地域学校協議会提言の達成率が増加する
	3	中学校区人権のまちづくりへの支援	「自分にはよいところがあると思う」「人が困っているときは進んで助ける」と答える児童生徒の割合が増加する

### 重点1 学びをつなぐ授業【主体的・対話的で深い学び】

- ① 「くるめ授業スタンダード」を活用しながら、現在の学びを過去や未来の学びとつなぐ、友達や地域の方々など他者とつなぐ、各教科等の学びとつなぐ「主体的・対話的で深い学び」となるように毎日の授業を見直します。  
そして、子どもが基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付けるとともに、これらを活用して課題解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を伸ばすことで、「自ら学びたくなる、わかる・できる喜びを味わう」授業づくりを進めます。
- ② インクルーシブ教育システムの構築に向けて、ユニバーサルデザインの視点による授業づくりを進めるとともに、個別の教育支援計画、個別の指導計画に基づく個に応じたきめ細かな支援を行う特別支援教育を充実させます。
- ③ 超スマート社会（Society5.0）時代の到来を踏まえ、情報を収集し、目的に合わせて加工する情報活用能力を身に付けるための教育活動を充実させます。
- ④ 多文化共生社会の実現をめざし、多様な国籍や民族などの背景をもつ人々の文化や自国文化の理解を深め、コミュニケーション力を育てる外国語教育を充実させます。



## 主な事業の概要

事業名	担当課	事業概要	予算額 (千円)
<b>重点事業 1</b> 小・中学校学力・生活実態調査事業	学校教育課	児童生徒の学力等の実態を把握し、分析・考察した結果をもとに授業改善と教員の指導力向上を図る。	計 16,909 小 9,308 中 7,601
<b>重点事業 2</b> 小学校くるめ学力アップ推進事業	学校教育課	児童の学力向上をめざし、基礎的・基本的な学習内容の確実な習得と学習習慣の定着を図るために、「くるめ授業スタンダード」を活用した授業改善に取り組む。また、特色ある教育実践校の指定、全小学校を対象にした放課後学習会の支援、学力向上実践推進校の指定（2校）を実施する。	10,074
<b>重点事業 3</b> 中学校くるめ学力アップ推進事業	学校教育課	生徒の学力向上をめざし、中学校の確かな学力の育成を図るために、「くるめ授業スタンダード」を活用した授業改善に取り組む。また、特色ある教育実践校の指定、全中学校を対象にした補充学習の支援、学力向上実践推進校の指定（1校）を実施する。	9,667
<b>重点事業 4</b> 小・中学校特別支援教育支援員活用事業	学校教育課	通常学級及び特別支援学級に在籍する教育上特別な支援を必要とする児童生徒がより良い学校生活を送ることができるよう特別支援教育支援員を全小中学校に配置する。	計 104,536 小 84,924 中 19,612
<b>重点事業 5</b> 発達障害支援事業	学校教育課	児童の発達に関する相談・支援窓口として子ども発達相談教室を設置する。また、ADHDの子どもへの包括的治療プログラムを行う「くるめ STP」事業への補助を行う。	3,366
<b>重点事業 6</b> 外国語指導助手活用事業	学校教育課	小学校外国語活動・外国語科と中学校の外国語科との円滑な接続をめざすとともに、外国語教育の充実を図り、外国語によるコミュニケーション能力の基礎や素地の育成を図るため、外国語指導助手（ALT）を配置する。	計 73,519 小 36,378 中 37,141
<b>重点事業 7</b> 小・中学校英語教育充実事業	学校教育課	生徒の英語運用能力の向上を図るため、4技能（読む、聞く、書く、話す）を測定するスコア型検定を実施し、その結果を授業改善に活かすための取組を行う。	13,311

事業名	担当課	事業概要	予算額 (千円)
<b>重点事業 8</b> 教育 ICT 活用事業	教育 ICT 推進課	国の GIGA スクール構想に基づき、各学校に整備したコンピュータ端末と校内通信ネットワーク環境を活用した授業を実践する。 教育 ICT モデル校における効果的な授業モデルの構築及び推進リーダーの養成研修等を行い、全学校への展開を図る。	408,020 (繰越含む)
小・中・特別支援学校図書活動の推進	教職員課	小・中・特別支援学校の学校図書館の充実を図るため、学校司書を配置する。	計 132,890 小 93,673 中 36,189 特 3,028
学校事務支援事業	教職員課	小・中・特別支援学校に事務補助職員を配置し、学校事務の支援を行う。	計 90,938 小 60,267 中 29,088 特 1,583
教育活動支援事業	教育 センター	教職員の教育活動を支援するため、授業づくりサポートの充実、図書室の整備、教育情報の提供、理科教育の推進、教育論文の執筆支援及び奨励を図る。	2,349
教職員校内研修事業	学校教育課 教職員課	教職員の実践的な指導力を高めるため、教職員の研修や教科等の研究を推進する団体やグループに対して助成を行う。	計 2,637 小 1,320 中 726 特 591
特別支援教育進路指導事業	学校教育課	久留米特別支援学校高等部の作業学習や現場実習への支援を行うことにより、卒業後の進路獲得を目指した進路指導の充実を図る。	4,208
就学相談事業	学校教育課	障害のある幼児児童生徒の学校生活の充実を目的として、就学に際して個々の幼児児童生徒に適した教育支援の方策を検討するための就学相談会を実施する。	1,371
外国人等児童生徒サポート事業	学校教育課	日本語理解が困難な外国人等の児童生徒が在籍する学校に語学能力を有するサポーターを派遣し、学習支援等を行う。また、支援が必要な学校に翻訳機を配備する。	3,582

## 重点2 楽しい学校【安全・安心な学び舎】

- ① 「くるめアクションプラン」を活用しながら、いじめ問題や不登校の未然防止、早期発見、早期対応を徹底し、誰もが安心して学べる学校生活を送れるようにします。
- ② 児童生徒が自分で自分の身を守ることを意識し、自ら安全な行動ができる力を育む学校安全の取組や、心理及び福祉の専門的な知識経験を有するスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等による児童生徒の困りごとの解消に取り組みます。また、児童生徒が学校生活を安全かつ快適に送ることができるように、学校施設の計画的な整備に努めます。
- ③ 自分のよさや仲間のよさが実感できる学校になるように、人権が尊重される「学習活動づくり」「人間関係づくり」「環境づくり」を進め、人権・同和教育の取組を充実させます。

### 主な事業の概要

事業名	担当課	事業概要	予算額 (千円)
<b>重点事業9</b> 小学校不登校対応 総合推進事業	学校教育課	不登校や不登校傾向等の解消を図るため、小学校に生徒指導サポーターを配置する。	30,912
<b>重点事業10</b> 中学校不登校対応 総合推進事業	学校教育課	不登校及び不登校傾向にある生徒に校内の居場所を作り、生徒指導、進路指導及び学習支援を行いながら、教室へ復帰するための支援を行うため、中学校の校内適応指導教室に助手を配置する。	14,098
<b>重点事業11</b> 不登校児童生徒対 策事業	青少年育成 課	らるご久留米において、学校に行きたくても行けない児童生徒の基礎基本の学力向上と、様々な体験活動を通して学校復帰等へ向けた「心の安定」及び「心のエネルギーの回復」に努め、「自信の構築」「基本的生活習慣の改善」を図る。また、臨床心理士との連携により、児童生徒及び保護者のサポートを強化する。	8,523
<b>重点事業12</b> 生徒指導充実事業	学校教育課	中学校で生徒指導に対応する教員が生徒指導の諸問題への早期対応と解決を図っていくことのできる環境を整備する。 また、中学校生徒指導連絡協議会に対して活動助成を行う。	22,476

事業名	担当課	事業概要	予算額 (千円)
<b>重点事業 13</b> スクールカウンセラー活用事業	学校教育課	学校の教育相談機能を高め、いじめ・不登校等の生徒指導上の諸問題の解決や発達障害等の教育上特別な支援を必要とする児童生徒の学校生活へのよりよい適応を促すとともに、保護者の不安解消、医療機関との連携の充実を図るため、心理に関する専門的な知識経験を有するスクールカウンセラーを配置する。	計 13,472 小・特・高 2,888 中 10,584
<b>重点事業 14</b> スクールソーシャルワーカー活用事業	学校教育課	学校・家庭・関係機関の協働体制を築くための支援を行い、困りごとを抱えた児童生徒がおかれた環境へ働きかけ、課題解決への対応を図るため、福祉分野の諸制度等に関する専門知識を有するスクールソーシャルワーカーを配置する。	—
<b>重点事業 15</b> 学校施設の整備充実事業	学校施設課	児童生徒の生命を守り、災害時の避難施設を確保し、多様で新しい学習活動に対応した教育環境の整備を進めるため、学校施設の改築を計画的・効率的に行う。	計 480,627 小 475,521 うち増改築(繰越含む) 472,975 中 5,106
<b>重点事業 16</b> 学校施設の長寿命化事業	学校施設課	学校施設における建替コストの縮減、改修時期の調整による財政の平準化、環境負荷の低減などを図るため、外壁・防水工事等の施設の長寿命化を図る。	計 518,685 小 333,905 中 129,689 特 38,466 高 16,625 (繰越含む)
学校問題解決支援事業	学校教育課	法的、専門的な知識を必要とする保護者等からの要求や学校の重大事件・事故等の緊急的な対応が必要な事案に対して、各分野の専門家からなる相談体制を確立し、学校への助言等を行う。	1,120
生徒指導連絡協議会助成	学校教育課	問題行動等を防止し、児童生徒の健全な育成を図るため、生徒指導連絡協議会や学校警察連絡協議会に対して活動助成を行う。	計 150 小 111 高 39
SC・SSW スーパーバイザー活用事業	学校教育課	教育相談体制の強化を図るため、経験豊かで専門的知見を有するスーパーバイザーを配置し、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーに指導助言を行う。	1,565

事業名	担当課	事業概要	予算額 (千円)
学校施設維持管理 事業	学校施設課	学校施設における機能の維持改善を図るとともに、小中学校のブロック塀対応等、安全で快適な学習環境づくりに向けた整備を行う。	計 308,351 小 186,077 中 70,978 特 17,374 高 33,922 (繰越含む)
空調機整備事業	学校施設課	耐用年数を超えている教室及び管理諸室（校長室・職員室・事務室・保健室・図書室・コンピュータ教室等）の既設空調機について更新を行う。	計 174,364 小 74,201 中 100,163 (繰越含む)

### 重点3 笑顔の先生【教師力の向上と子どもと向き合う時間の確保】

① 教職員のキャリアステージに応じて求められる資質・能力を整理した育成指標に基づく教員研修の充実や教育活動の支援を通して、教員一人ひとりの授業力や学級経営力、保護者や地域との連携や使命感の向上に努めます。

② 教職員の働き方に関する意識改革と学校の役割と家庭・地域の役割を明確にすることを通して、教師が本来の業務に専念できるなど業務改善を進めます。

また、久留米市部活動方針の策定や学校を支える専門スタッフとの協働など、働き方改革を通して、児童生徒に接する時間を十分に確保し、笑顔で子どもたちに向き合う先生の環境づくりを推進します。

#### 主な事業の概要

事業名	担当課	事業概要	予算額 (千円)
<b>重点事業 17</b> 教職員研修事業	教育 センター	教育の専門家として、自ら学び続ける教職員を育成するために、育成指標に基づくキャリアステージに応じた研修や本市の教育課題に対応した研修を計画的に実施する。	12,560
<b>重点事業 18</b> 学校における働き方改革推進事業	教職員課	勤務時間を意識した働き方改革を進め、教職員の業務改善の取組を推進し、勤務環境整備のための支援を充実させることで、教職員の多忙化解消を図る。また、スクール・サポート・スタッフを一部配置する。	3,768

事業名	担当課	事業概要	予算額 (千円)
<b>重点事業 19</b> 学校 ICT 環境整備 事業	教育 ICT 推進課	教育イントラネットやデータセンターに一元化したファイルサーバ等について、安定的な運用を図る。 また、学習指導や生徒指導に活用するために、児童生徒一人ひとりの様々の情報を一元管理する校務支援システムの保守、サポート体制を整えることで、システムの安定稼働・運用を行う。	138,886
<b>教科等教育研究推進事業</b>	学校教育課	教職員の実践的指導力の向上を図るため、国・県・市の研究指定校、教職員研修や教科等の研究を推進する団体やグループに対して補助金の交付を行う。	3,971
<b>中学校部活動活性化事業</b>	学校教育課	競技大会等を運営する中学校体育連盟・中学校文化連盟に対し運営費、大会経費及び生徒の移動旅費に係る財政的支援を行う。また、持続可能な部活動の運営ができるように部活動指導員を配置する。さらに、部活動指導員及び外部指導者の指導中の事故等に対応するためスポーツ安全保険に加入する。	22,991
<b>教育課題研究事業</b>	教育 センター	本市の教育課題を解決するため、調査研究に取り組み、市主催研修等を通して、その成果を普及する。	764
<b>情報教育環境の充実</b>	教育 ICT 推進課	校務用・教育用ノートパソコンやパソコン教室の整備及び必要なメンテナンスを行う。 また、情報の収集・発信・交流を行うことができるよう、インターネット環境を整えるなど情報教育環境の充実を図る。	132,002



#### 重点4 協働する学校・家庭・地域【コミュニティ・スクールの推進】

- ① 学校を支えるスタッフや授業支援への地域人材の積極的な活用を図ることで、子どもたちの学習習慣定着や基礎的・基本的な知識・技能の定着を中心とした取組、家庭と連携して健やかな成長を支える生活習慣づくりへの支援などを進めます。
- ② 全小中学校に設置している地域学校協議会による提言の実働化への支援を図り、地域と学校の協働活動を一層充実させます。また、国の動向を踏まえ、コミュニティ・スクールへの移行に向けた組織や機能のあり方についての検討を進めます。
- ③ 全中学校区に設立されている人権のまちづくり推進協議会による誰もが安心して暮らすことができる心豊かなまちづくりへの支援を図り、地域コミュニティと学園コミュニティを両輪とした人権のまちづくりを一層充実させます。

#### 主な事業の概要

小学校くるめ学力アップ推進事業（重点事業2）、中学校くるめ学力アップ推進事業（重点事業3）は、重点4に含みます。

事業名	担当課	事業概要	予算額 (千円)
<b>重点事業 20</b> 小・中学校コミュニティ・スクール（久留米版）推進事業	学校教育課	学校・家庭・地域が協働して行う体験活動や教育活動を充実することで、地域の教育力を学校運営に取り入れ、地域とともにある学校づくりを推進するため、学校規模に応じた補助金や、地域学校協議会プランの提言を実働化させるための補助金を交付する。	計 26,785 小 19,698 中 7,087
<b>重点事業 21</b> 人権教育・啓発推進事業	学校教育課	自他の人権を守り、差別をなくす意志と実践力を身に付け、豊かな人権感覚をもった市民・児童生徒の育成を図るために、全中学校区毎に学園コミュニティ及び地域コミュニティが連携・協働し、地域の実態や課題に応じた人権教育・啓発活動を推進する。	7,060
P T A団体助成	教育部総務	家庭教育と学校教育との連携を深め、児童生徒の健全育成を図るため、久留米市小・中学校P T A連合協議会に対して補助金を交付する。	2,920
<b>社会人権・同和教育事業</b>	学校教育課	社会人権・同和教育を推進し、差別のない地域社会の実現をめざすため、社会人権・同和教育研修等による団体等の育成及び進路保障を図るための事業を実施する。	12,695

事業名	担当課	事業概要	予算額 (千円)
小・中学校人権・同和教育事業	学校教育課	人権・同和教育の振興・充実に資するため、部落差別をはじめとする様々な差別の現実に関し、教職員の人権についての認識を深めるとともに、その研究成果を広く啓発・普及する。	2,000
学校人権・同和教育事業	学校教育課	差別をなくす意志と実践力を持った児童生徒を育成し、社会に存在する差別意識を解消するため、久留米市人権・同和教育研究協議会の育成、質問教室の実施、就園・就学・進学奨励金等の給付を行うなど、基本的人権を尊重する意識を醸成する教育活動を推進する。	19,936

## その他の施策

### 主な事業の概要

事業名	担当課	事業概要	予算額 (千円)
<b>重点事業 22</b> 食育プログラム研究推進事業	学校教育課	子どもたちの食に関する正しい知識と望ましい食習慣、基本的生活習慣を育成するため、栄養教諭等研究会や食育推進校のPTAに対する助成を行う。	871
<b>重点事業 23</b> 医療的ケア対応事業	学校教育課	医療的ケアを必要とする児童生徒に対応するため、久留米特別支援学校に看護師を配置し、子どもの状況に的確に対応できる安全な教育環境の整備を図る。	39,892
<b>重点事業 24</b> 中学校美術教育振興事業	学校教育課	中学生の美術に関する興味・関心を高め、豊かな心と郷土を愛する心を育むため、中学校第1学年の生徒が久留米市美術館等の企画展・常設展を鑑賞するためのバスの借上げを行う。	2,890
<b>重点事業 25</b> 学校規模対策事業	学校教育課	久留米市立小学校小規模化対応方針に基づき、複式学級の回避・解消を目的とした小学校の統合を進めるための協議や調整を行う。	22,559
学校訪問看護支援事業	学校教育課	医療的ケアを必要とする児童生徒の保護者が、学校活動において訪問看護制度を活用する際の補助を行う。	4,819



事業名	担当課	事業概要	予算額 (千円)									
中学校生徒会支援事業	学校教育課	中学校の生徒会の交流を促進し、生徒会活動を活性化することで、生徒による学校運営の円滑化と課題の解決を図る。	88									
久留米市奨学金	学校教育課	<p>経済的な理由により高等学校等の修学が困難な者に対し奨学金を給付する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>入学一時金(円)</th> <th>月奨学金(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公立</td> <td>20,000</td> <td>5,000</td> </tr> <tr> <td>私立</td> <td>30,000</td> <td>7,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 高校生等奨学給付金の支給要件を満たさない者の月奨学金は7,000円</p>		入学一時金(円)	月奨学金(円)	公立	20,000	5,000	私立	30,000	7,000	20,204
	入学一時金(円)	月奨学金(円)										
公立	20,000	5,000										
私立	30,000	7,000										
就学援助事業	学校保健課	小・中学校に通学する児童・生徒で、経済的理由により就学が困難な者の保護者に対し、学用品費や給食費、PTA会費、生徒(児童)会費、クラブ活動費などを支給する。	計 572,804 小 302,122 中 270,024 特 658									
定期健康診断	学校保健課	児童生徒及び教職員の健康診断を実施し、健康管理の推進を図る。	計 46,381 小 25,107 中 15,299 特 1,959 高 4,016									
歯科保健指導事業	学校保健課	学校歯科医の指導のもとに歯科衛生士を久留米市立小学校に派遣し、小学校2年生を対象に歯磨指導を行う。	930									
学校保健会助成	学校保健課	各学校が実施する保健事業を支援することにより、学校保健衛生の普及向上に資する。	2,417									
学校給食の充実	学校保健課	学校給食運営の効率化とともに、安全衛生管理の徹底や、給食施設・設備等の更新・修繕を行い、安全安心な学校給食を提供する。	計 746,872 小 691,912 中 27,856 特 27,104									

## Ⅱ 生涯学び、活躍できる環境を整え、心豊かな市民生活をおくることができるまちづくり

### 1 生涯学習・社会教育の推進

市民が生涯にわたり自己実現を図っていくことができるよう、生涯学習の振興に努め、全市的な生涯学習ネットワークの確立を図るとともに、青少年健全育成の推進、家庭・地域社会の教育力の向上、社会人権・同和教育の推進など、地域に根ざした市民主体の生涯学習・社会教育の推進に取り組みます。また、利用者が安全で安心して利用できるよう生涯学習施設等の改修を進めます。

#### 主な事業の概要

事業名	担当課	事業概要	予算額 (千円)
<b>重点事業 26</b> 地域生涯学習振興事業	生涯学習推進課	校区等において実施される委嘱学級や土曜塾をはじめとする生涯学習事業に対して、財政支援や指導者の養成などの各種支援を行い、地域における生涯学習の振興を図る。	67,098
<b>重点事業 27</b> 体験活動推進事業	生涯学習推進課	少年の翼、アドベンチャーキャンプ、わくわく遊友体験などの体験活動事業を通じ、団体生活の楽しさや友情の深まりなどを体験する場を創出し、子どもたちの自主性・協調性・創造性を育む。	4,698
社会教育団体支援事業	生涯学習推進課	LL ネットコアくるめや子ども会連合会、女性の会婦人会連絡協議会をはじめとする各社会教育団体の活動振興のため、財政支援や活動助言、指導等の各種支援を行う。	22,377
生涯学習センター活用事業	生涯学習推進課	各地域における生涯学習センターを広く活用した各種講座等を実施することにより、市民の生涯学習の推進を図る。	6,339
生涯学習センター維持補修事業	生涯学習推進課	えーるピア久留米をはじめ、各地域の生涯学習センターについて、経年劣化に応じた維持補修を行う。	52,191
城島総合文化センター維持補修事業	生涯学習推進課	城島総合文化センターについて、経年劣化に応じた維持補修を行う。	22,962
社会人権・同和研修事業	生涯学習推進課	同和問題や男女共同参画に関する問題をはじめとする様々な人権問題に関して「なるほど人権セミナー」等の啓発事業を実施するほか、人権・同和教育を推進するリーダーの養成、啓発資料の作成、校区コミュニティセンター等における人権学習の振興を図る。	1,938

## 2 歴史遺産の保護・活用

久留米市が有する歴史遺産の適正な保護とその活用に努めるとともに、市民意識の醸成や地域文化の継承に役立てます。また、地域の活性化につなげるために、地域と連携した事業の展開を図り、交流人口の増加に取り組みます。

特に、令和3年度は大名有馬家が久留米城に入城してから400年という歴史的節目に当たり、この好機に久留米市初の雅楽公演会を開催するなど、高い効果が期待できる事業を展開します。

併せて、文化財保護法の改正を踏まえ、歴史遺産の保存と活用の方針と具体的な取り組みを示した「文化財保存活用地域計画」の国による認定を進めます。

### 主な事業の概要

事業名	担当課	事業概要	予算額 (千円)
<b>重点事業 28</b> 歴史資料保存活用事業	文化財保護課	地域文化を知り、創造し、継承するため、歴史資料の収集と適正な保存管理を図る。 また、六ツ門図書館展示コーナー等での展示を通じて資料の活用を図り、郷土の歴史に関する市民意識の高揚と、地域文化の継承に役立てる。	9,251
<b>重点事業 29</b> 筑後国府跡歴史公園整備事業	文化財保護課	久留米市を代表する歴史遺産である筑後国府跡を、市民が身近な場所で歴史を感じることができる歴史公園として保存整備を図る。歴史学習や地域活動の場を提供し、市民の「郷土」に対する愛着心を高めるとともに、歴史遺産の価値と魅力を未来に向けて継承する。	11,475
<b>重点事業 30</b> 歴史ルートづくり事業	文化財保護課	市内に数多く存在する歴史遺産を整理・集積し、歴史的背景に基づくストーリーの設定や周知イベントの実施により、地域の魅力を発信する。 同時に、拠点となる歴史スポット等の整備を行い、安全で魅力的な環境づくりを推進するとともに、交流人口の増加を目指す。	10,456
<b>重点事業 31</b> 久留米入城 400 年事業	文化財保護課	令和3年度は現在の久留米市の礎を築いた大名有馬家が久留米城に入城してから400年を迎えることから、久留米入城400年関連記念事業としてシンポジウム、雅楽公演会、城下町めぐりイベント等に取り組み、文化財保護意識の醸成と地域の魅力向上及び活性化につなげる。「歴史のまち久留米」のブランド化を図る。	14,326

事業名	担当課	事業概要	予算額 (千円)
発掘調査事業	文化財保護課	国民の共有財産である貴重な埋蔵文化財を保護するため、開発により現状が維持できない場合は、記録保存を目的とした発掘調査を行う。 わが国及び久留米地域の歴史文化の正しい理解を促し、市民の郷土愛を醸成するとともに、地域の文化活動の展開やまちづくり活動を支援する。	144,298
埋蔵文化財センター事業	文化財保護課	発掘調査に伴う出土品や記録類の集中管理及び調査研究を行う。 また、市民の多様な文化活動の展開を支援するため、発掘調査成果を公開する展示会や体験学習などの普及活動を実施する。	2,179
歴史的建造物保存整備事業	文化財保護課	市内に残る歴史的価値のある建造物の調査・保存整備・活用を図り、市民へ周知するとともに、その魅力を内外に向けて発信できる人づくりとまちづくりを推進する。	2,993
史跡等環境整備活用事業	文化財保護課	地域の特性を生かした「歴史の広場」の整備を進め、説明板の設置などまちづくりの素材としても活用を図る。また、文化財の周知、普及活動を積極的に展開する。	3,663
坂本繁二郎生家活用事業	文化財保護課	坂本繁二郎生家は、久留米城下町に唯一残る武家屋敷を復原したもので、活用事業として体験講座等を実施するとともに、貸室の利用促進に努める。 また、歴史のプロムナードとして、関係施設等と連携を図り、地域の回遊性を向上させる。	322
文化財保護団体等育成事業	文化財保護課	文化財の管理、普及活動及び無形民俗文化財の継承を行っている団体に対し補助金の交付を行うことで、文化財の保護を図る。	1,045
社会教育施設営繕保全事業	文化財保護課	老朽化した坂本繁二郎生家外壁と西町事務所屋根の改修を行い、文化財の保存と活用を図る。	7,773

### 3 スポーツの推進

久留米市のスポーツ分野における基本的な方向性を示した「久留米市スポーツ推進計画」（令和2年度から7年度）の基本方針である「スポーツ参画人口の拡大」「スポーツ環境の基盤となる「人材」と「場」の充実」「スポーツを通じた、活力があり絆の強い社会の実現」を目指すことで、スポーツの推進を図ります。

また、県南の中核都市にふさわしいスポーツ事業・コンベンション・施設整備・組織づくりの推進に向け、久留米アリーナをはじめ施設の有効活用を図ります。

さらに産官学にわたるオール久留米の力を結集し、東京2020オリンピック・パラリンピックの事前キャンプの受入を契機として、キャンプ誘致など開催効果を引き込む取り組みを進めます。

併せて、市民が安心して利用できるようスポーツ施設の老朽化対応や機能向上を目的とした計画的な改修を進めます。

#### 主な事業の概要

事業名	担当課	事業概要	予算額 (千円)
<b>重点事業 31</b> MICE 誘致推進事業	体育スポーツ課	スポーツによる地域活性化及び市のスポーツ振興のため、東京2020オリンピック・パラリンピックの事前キャンプを受け入れるとともに、このことを契機に、大規模スポーツ大会や強化キャンプ等の誘致を推進する。	206,640
スポーツ大会振興事業	体育スポーツ課	全国・九州規模のスポーツ大会を誘致開催し身近に見ていただくことで、スポーツを始めるきっかけをつくとともに、市民のスポーツ技術向上と競技スポーツの振興を図る。	5,000
スポーツ交流推進事業	体育スポーツ課	スポーツを通じて、近隣市町村及び市民間の交流を推進し、お互いの友好親睦を深めることで活動の広域化を図り、市民スポーツを振興する。	4,862
スポーツ推進委員養成事業	体育スポーツ課	スポーツ推進委員を対象としたスポーツ全般に関する知識・技術・指導力を高めるための研修会や講習会を実施し、地域スポーツの振興のための実技指導及び助言を行うコーディネーターとしての資質向上を図る。	8,221
(公財)久留米市体育協会助成事業	体育スポーツ課	すべての市民が手軽にスポーツに参加することを旨とし、各種大会への参加奨励、各競技団体が開催するスポーツ大会への支援や指導者の育成などを(公財)久留米市体育協会を通じて実施し、市民の生涯スポーツの普及推進を図る。	52,114

事業名	担当課	事業概要	予算額 (千円)
市民スポーツ推進事業	体育スポーツ課	① 市民が主体的にスポーツと触れ合う仕組みを提供し、広くスポーツの恩恵を享受できるような環境を整備し、ひいては市民のスポーツ実施率向上を目指す。 ② 国際大会等での活躍が期待できる久留米市ゆかりのジュニアアスリートが競技に専念できる環境整備の強化を図る。	4,226
保健体育施設事業	体育スポーツ課	市内体育施設を適切に管理運営することで、市民サービスの向上及び安全・安心な利用につなげる。 <主な内容> ・体育施設の指定管理業務	240,203
体育施設維持補修事業	体育スポーツ課	スポーツ施設の老朽化に伴い、計画的に補修・改修を行うことにより利用者のサービス向上と社会体育施設の安全性を確保する。 <主な内容> ・城島体育館等下水道接続工事 ・西部地区体育館屋上防水改修設計業務	12,818



#### 4 市民の自己学習の場としての図書館づくり

市民一人ひとりの学びと情報の拠点として、市民生活の充実と地域社会の発展を支える役割を担うため、多様な図書資料や情報の収集・整理・保存を行い、利用者への適切な提供や企画展示など積極的な活用を図ります。

また、各地域館や図書施設とのネットワークの促進、石橋文化センターや久留米市美術館など隣接施設・関係団体等との連携を深め、利用者ニーズに応じたサービスの充実を図ります。加えて、利用者が使いやすい図書館づくりのため、中央図書館の窓口集約整備を行います。

#### 主な事業の概要

事業名	担当課	事業概要	予算額 (千円)
<b>重点事業 32</b> 子どもの読書環境整備事業	中央図書館	① 第4次久留米市子どもの読書活動推進計画の推進 第4次久留米市子どもの読書活動推進計画(令和2年度～7年度)に基づき、子どもが心豊かな生活を送れるよう本との出会いと読書習慣の定着を進めるため、子どもの読書活動を推進する環境整備を進める。 ② ブックスタート事業 子どもと絵本をつなぐきっかけづくりを目的として、子どもの健やかな成長などに効果があるブックスタート事業を実施する。	5,977
<b>重点事業 33</b> 図書館整備事業	中央図書館	① 図書館施設・機能の整備充実 安全で快適な読書空間の提供と図書資料・情報の確保、積極的な情報発信に努めることで、図書館機能の充実を図り、市民の生涯学習ニーズに対応する。令和3年度は、窓口集約の工事及び環境配慮型施設にするためのZEB(ready)化による空調設備等の改修工事を行う。 ② 福祉サービスの提供と市民との協働 ボランティアとの協働による録音・点字図書の製作や活用、対面朗読など福祉サービスを充実する。 ③ 図書館来館困難者へのサービス提供 高齢や障害、図書館遠隔地など、図書館を利用しにくい環境にある市民に対し、移動図書館巡回や団体貸出、有料宅配などのサービス提供に努める。	360,305

### Ⅲ 新型コロナウイルス感染症対策

#### 1 新型コロナウイルス感染症対策関連事業

新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、引き続き感染症対策を行いながら、児童生徒の学びを保障する取組を進めます。

#### 主な事業の概要

事業名	担当課	事業概要	予算額 (千円)
教育 ICT 活用事業	教育 ICT 推進課	小・中・特別支援学校・高校に整備したコンピュータ端末と校内通信ネットワーク環境を活用した授業を実践する。	202,450
久留米市立学校における働き方改革推進事業	教職員課	教員等の業務をサポートするスクール・サポート・スタッフを配置する。	3,768
学びの保障事業	学校教育課	児童生徒一人ひとりの学習定着度に応じたきめ細かな指導や、特別な教育上の支援が必要な児童生徒への支援を行うための学習指導員を配置する。	計 7,444 小 5,210 中 745 特 1,489
スクールバス運行事業	学校教育課	新型コロナウイルス感染症対策のため、特別支援学校のスクールバスを増便する。	65,512
小学校施設維持管理事業	学校施設課	空調機の電力需要増により容量不足が見込まれる小学校2校の変圧器を改修する。	8,184
小学校施設長寿命化事業	学校施設課	感染症予防の観点も踏まえ、小学校1校のトイレを洋式化・ドライ化する。	50,578
小学校空調機整備事業	学校施設課	小学校2校の管理諸室等の既設空調機を更新する。	20,069
中学校施設維持管理事業	学校施設課	空調機の電力需要増により容量不足が見込まれる中学校1校の変圧器を改修する。	2,728
中学校空調機整備事業	学校施設課	中学校3校の管理諸室等の既設空調機を更新する。	30,580
特別支援学校施設維持管理事業	学校施設課	児童生徒の状況等に対応するため、校舎内の一室を教室へ改修する。	4,285
特別支援学校施設長寿命化事業	学校施設課	感染症予防の観点も踏まえ、特別支援学校のトイレを洋式化・ドライ化する。	38,466



## 2 感染拡大を防止するための環境づくり

「児童生徒の3密状態を可能な限り回避する」「消毒・換気・手洗い・マスク着用の励行等の感染症対策を行う」等に取り組みます。

### 学校における取組事例

- 時間分散 … 図書室利用、昼休み、下校時間、給食の受取と返却等の時間を学年・学級毎にずらす等
- 場所分散 … 少人数授業、分散給食、第2保健室の設置、図書室利用等の実施
- 学習活動 … シールドを活用したペア学習や音楽科の学習等
- 消毒作業 … 教職員のほか、地域及び保護者との連携による実施



シールドを活用したペア学習



シールドを活用した音楽科の学習



分散給食（特別教室と2分割）



入室人数を制限する図書室利用

## 3 児童生徒の心のケア

### (1) 感染者や濃厚接触者等に対する偏見や差別等の禁止

感染者や濃厚接触者とその家族、治療等に従事する医療従事者やその家族等に対する偏見や差別につながるような行為は、決して許されないものであり、感染症に関する適切な知識を児童生徒の発達段階に応じて行うことなどを通して、このような偏見や差別が生じないようにします。

## **(2) 困りごとを抱える児童生徒への支援**

心理に関する専門的な知識経験を有するスクールカウンセラーや、福祉分野の諸制度に関する専門知識を有するスクールソーシャルワーカーを各学校へ派遣し、コロナ禍において困りごとを抱える児童生徒に対して本人や保護者へのカウンセリングを行ったり、児童生徒を取り巻く環境へ働きかけたりするなど、課題解決への対応を図ります。

## **4 ICTを活用した取り組み**

校内通信ネットワーク環境やコンピュータ端末を活用し、新型コロナウイルス感染症による影響が残る中でも学びを止めないために、誰一人取り残すことのない個別最適化・協働的な学びの実現を目指します。

## IV 教育施策の重点事業

### ○ 学校教育

重点事業No.	事業名
1	小・中学校学力・生活実態調査事業
2	小学校くるめ学力アップ推進事業
3	中学校くるめ学力アップ推進事業
4	小・中学校特別支援教育支援員活用事業
5	発達障害支援事業
6	外国語指導助手活用事業
7	小・中学校英語教育充実事業
8	教育ICT活用事業
9	小学校不登校対応総合推進事業
10	中学校不登校対応総合推進事業
11	不登校児童生徒対策事業
12	生徒指導充実事業
13-1	スクールカウンセラー活用事業（小・特別支援学校・高校）
13-2	スクールカウンセラー活用事業（中学校）
14	スクールソーシャルワーカー活用事業
15	学校施設の整備充実事業
16	学校施設の長寿命化事業
17	教職員研修事業
18	学校における働き方改革推進事業
19	学校ICT環境整備事業
20	小・中学校コミュニティ・スクール（久留米版）推進事業
21	人権教育・啓発推進事業
22	食育プログラム研究推進事業
23	医療的ケア対応事業
24	中学校美術教育振興事業
25	学校規模対策事業

○ 社会教育

重点事業No.	事業名
26	地域生涯学習振興事業（委嘱学級）
27	体験活動推進事業（少年の翼事業）
28	歴史資料保存活用事業
29	筑後国府跡歴史公園整備事業
30	歴史ルートづくり事業
31	久留米入城400年事業
32	MICE誘致推進事業
33	子どもの読書環境整備事業
34	図書館整備事業

## 重点事業 1

事業名	小・中学校学力・生活実態調査事業			担当課	学校教育課		
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	R1 決算	R2 予算	R3 予算		
			10,658 千円	16,869 千円	16,909 千円		
事業目的	児童生徒の学力・生活実態を把握し、それに基づく指導方法の工夫改善を行うことで、教職員の指導力の向上を図るとともに児童生徒の学力の向上を目指す。						
事業内容	<p>(1) 小学校及び中学校において、学力・生活実態調査を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○小学校 (R3.5 予定) 第2～4 学年 国語・算数</li> <li>○中学校 (R3.4 予定) 第1 学年 国語・数学 第2 学年 国語・数学・英語</li> </ul> <p>(2) 調査結果をもとに、各学校の学力向上の取組の見直し及び授業改善、保護者・地域への協力依頼を行う。</p>						
	<div style="text-align: center;">  <p><b>学力実態調査事業</b></p> <p>標準学力検査の実施</p> <p>【小学校】 2～4 年 国語・算数 【中学校】 1 年：国語・数学 2 年：国語・数学・英語</p> <p>生活実態調査の実施</p> <p>学習状況や生活習慣等 (例) ・授業以外の学習時間 ・授業が分かる ・朝食を取る</p> <p>学力等の現状把握と分析</p> <p>○学力及び生活習慣等の現状把握 ○課題とその要因の分析 ○学力向上に向けた方策の検討</p> <p>各学校におけるプランの策定</p> <p><b>「つくる力」「つなぐ力」「つらぬく力」の育成</b></p> <p>学習習慣の定着 (家庭・地域との協働) → ○学びをつなぐ授業 ○楽しい学校 ○協働する家庭・学校・地域 ← 教員の指導力向上 (日常的な授業改善)</p> <p>↑ 学力基盤づくり (補充学習や少人数授業等の実施)</p> </div>						
事業目標 成果指標	小4と中2における質問紙「授業がよく分かる」に対する肯定的回答の割合が増加する。	区分	R1 実績		R2 実績		R3 目標値
			市	全国	市	全国	
		小4	87.3	87.4			それぞれの回答の割合が増加
中2	82.7	67.5					

## 重点事業 2

事業名	小学校くるめ学力アップ推進事業		担当課	学校教育課	
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	拡充	事業費	R1 決算	R2 予算	R3 予算
			49,385 千円	9,941 千円	10,074 千円
事業目的	児童の学力向上をめざし、基礎的・基本的な学習内容の確実な習得と学習習慣の定着を図る。				
事業内容	<p>① 校長のリーダーシップのもと、学校の伝統や強みを活かした取組を主体的に行う学校を公募で指定し、学力向上につながる特色ある教育を実践する。</p> <p>② 理論に裏打ちされた説得力のある実践を進めるため、学校現場で活かせる研究実践を行う学識経験者を市教育委員会のシンクタンクとして招聘する。</p> <p>③ 全小学校に対して学生、地域ボランティアを派遣し、放課後学習会等を支援する。</p> <p>④ 小学校2校（合川小・城島小）を学力向上実践推進校に指定し、学習支援スタッフを派遣して学力向上の取組の検証改善サイクルを確立させる方途を実践研究し、報告会を通して市内小学校へ取組の普及・啓発を図る。</p>				
	<div style="text-align: center;"> <p><b>久留米市教育シンクタンク</b></p> <p><b>小学校くるめ学力アップ推進事業</b></p> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <p>The flowchart illustrates the implementation process. At the top is the project name. An arrow points down to three parallel activities: 'Learning Habit Consolidation' (volunteers), 'Academic Improvement Practice' (staff dispatch), and 'Characteristic Education' (designated schools). These lead to 'Daily improvement of lessons and family learning', which then leads to 'Solid Academic Achievement' (accompanied by student icons).</p> </div>				
事業目標 成果指標	県学力調査（小5）と全国学力・学習状況調査（小6）において、県を100とした場合の得点率（標準化得点）が上昇する。	教科区分	R1 実績	R2 実績	R3 目標値
		県学力調査 小5 国語	95.9	94.7	標準化得点が前回より上昇する。
		県学力調査 小5 算数	95.2	94.7	
		全国学力調査 小6 国語	97.8	/	
		全国学力調査 小6 算数	97.8		

### 重点事業 3

事業名	中学校くるめ学力アップ推進事業			担当課	学校教育課		
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	見直し 拡充	事業費	R1 決算	R2 予算	R3 予算		
			23,510 千円	10,970 千円	9,667 千円		
事業目的	生徒の学力向上をめざし、学校における授業改善を促し、生徒の基礎的・基本的な学習内容の確実な習得と学習習慣の定着を図る。						
事業内容	<p>① 放課後学習会等を支援するために、学生及び地域の方から学習ボランティアを募り、各中学校に派遣する。</p> <p>② 中学校1校（青陵中）の学力向上実践推進校事業において、学力向上の取組を推進する組織体制や人材育成のあり方について実践研究を行い、効果的な取組を全中学校に拡げる。</p> <p>③ 校長のリーダーシップのもと、学校の伝統や強みを活かした取組を主体的に行う学校を公募で指定し、学力向上につながる特色ある教育を実践する。</p> <p>④ 理論に裏打ちされた説得力のある実践を進めるため、学校現場で活かせる研究実践を行う学識経験者を市教育委員会のシンクタンクとして招聘する。</p>						
	<div style="text-align: center;"> <p><b>久留米市教育シンクタンク</b></p> <p><b>中学校くるめ学力アップ推進事業</b></p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> <p><b>学習習慣定着事業</b> 学生や地域のボランティアを派遣し補充学習を実施（全10校）</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> <p><b>放課後学習会</b> 学習コーディネーターや学習指導員を配置し、放課後等に補充学習を実施（全7校）</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> <p><b>学力向上実践推進校</b> 学習支援スタッフを派遣し、学力を向上させる授業づくりや家庭学習、補充学習の在り方等について研究、普及・啓発</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> <p><b>特色ある教育実践指定校</b> 特色ある教育実践指定校の実践的な研究の実施（2校）</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">学習内容の習得・学習習慣の定着</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">学力向上への企画・推進</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">組織体制の確立・人材育成</div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; background-color: #f0f0f0;"> <p><b>確かな学力の育成</b></p> </div> </div>						
事業目標 成果指標	県学力調査(中1・2)と全国学力・学習状況調査(中3)において、県を100とした場合の得点率(標準化得点)が上昇する。	学年	R1 実績		R2 実績		R3 目標値
			国	数	国	数	
		中1	97.6	98.0	/	/	標準化得点が 前回より上昇する
		中2	97.4	93.9			
中3	97.2	93.7					



## 重点事業 4

事業名	小・中学校特別支援教育支援員活用事業			担当課	学校教育課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	R1 決算	R2 予算	R3 予算
			98,729 千円	109,725 千円	104,536 千円
事業目的	通常学級及び特別支援学級に在籍する教育上特別な支援を必要とする児童生徒がより良い学校生活を送ることができるよう、特別支援教育支援員を全小中学校に配置する。				
事業内容	<p>① 特別支援教育支援員を学校に配置し、授業を行う教員の一齐指示だけでは理解したり行動したりすることが難しい児童生徒に対して、補助的な指示や学習活動のサポートなどを行う。また、授業中に教室を離れる児童生徒の居場所の確認や安全の確保、肢体不自由のある児童生徒の移動の際の補助、情緒が不安定な児童生徒にかかわり感情の高ぶりを落ち着かせる支援等を行う。</p> <p>② 特別支援教育支援員の役割や障害種別の特性理解について、講話等の研修を行い、個別の支援の充実を図る。</p>				
事業目標 成果指標	特別支援教育支援員研修会を受講した支援員の研修内容への満足度の向上	R1 実績	R2 実績	R3 目標値	
		98.3%	100%	前年度を保持	



## 重点事業5

事業名	発達障害支援事業			担当課	学校教育課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	R1 決算	R2 予算	R3 予算
			3,293 千円	3,453 千円	3,366 千円
事業目的	発達障害を有する児童生徒に対する効果的・総合的な支援体制を整備する。				
事業内容	<p>① 相談・支援教室の設置 久留米特別支援学校内に「子ども発達相談教室」を設置し、小学校に在籍する児童を対象にした相談への対応や関係機関とのコーディネートを行う。</p> <p>② くるめサマー・トリートメント・プログラム（STP）の支援 ADHDのある子どもへの包括的な治療プログラムである「くるめSTP」事業の運営補助を行う。</p>				
事業目標	子ども発達相談教室の相談		R1 実績	R2 実績	R3 目標値
成果指標	件数（50 件以上）の確保		51 件	52 件	50 件以上

## 重点事業 6

事業名	外国語指導助手活用事業			担当課	学校教育課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	R1 決算 64,746 千円	R2 予算 72,469 千円	R3 予算 73,519 千円
事業目的	<p>小学校外国語活動・外国語科と中学校の外国語科との円滑な接続をめざすとともに、外国語教育の充実を図り、外国語によるコミュニケーション能力の基礎や素地の育成を図る。</p>				
事業内容	<p>① 中学校の全学年全学級に対し、外国語の年間授業時間 140 時間に対し、25 時間以上 A L T を配置できるよう計画する。</p> <p>② 小学校 3～4 年に対し、外国語活動の年間授業時数 35 時間の内 10 時間以上、また、小学校 5～6 年に対し、外国語の年間授業時数 70 時間の内 28 時間以上に A L T を派遣する。</p> <div style="text-align: center;"> <p>小・中学校外国語指導助手活用事業</p> <pre> graph TD     A[小・中学校外国語指導助手活用事業] --&gt; B[外国語指導助手 (ALT) の派遣]     B --&gt; C[中学校の外国語科担当教員との外国語科の授業、小学校中高学年の担任との外国語活動及び外国語科の授業、校内研等の講師、児童生徒への補充指導]     C --&gt; D[小学校 中学校 特別支援学校]     B --&gt; E["【小学校の外国語科・外国語活動】 ○ 3・4年の各学級で 年間授業時数35Hに対して10H派遣 ○ 5・6年の各学級で 年間授業時数70Hに対して28H派遣 ○ 特色ある教育実践指定校に対して 上記以上の時数及び学校が求める 他教科・領域等の授業"]     B --&gt; F["【中学校の外国語科】 ○ 1～3年の各学級で、外国語科年間 140Hに対して25H派遣"]     E --- G[連携]     F --- G     G -.-&gt; D                     </pre> </div>				
事業目標 成果指標	市学力・生活実態調査の英語(中2)の平均正答率が全国平均以上	R1 実績 市 : 62.4 全国 : 69.0	R2 実績 市 : 不実施 全国 : 不実施	R3 目標値 全国平均以上	

## 重点事業 7

事業名	小・中学校英語教育充実事業			担当課	学校教育課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	R1 決算	R2 予算	R3 予算
			11,725 千円	25,093 千円	13,311 千円
事業目的	生徒の英語運用能力の向上を図るため、4技能（読む、聞く、書く、話す）を測定するスコア型検定を実施し、その結果を授業改善に活かすための取組を行う。				
事業内容	<p>① 中学校2年生を対象に、4技能（読む、聞く、書く、話す）を測る調査（GTEC 検定）を実施する。また、この調査結果を授業改善に活かすための英語授業改善プロジェクトにおいて、生徒の英語力向上に向けた取組を提案する。</p> <p>② 英語授業改善プロジェクトにより、外国語教育における小学校と中学校の連携を図り、学校種間のスムーズな接続を図る。</p> <div style="text-align: center;"> <pre> graph TD     A[小中学校英語教育充実事業] --&gt; B[小学校]     A --&gt; C[中学校]     B --&gt; D[これまでの外国語教育推進校による成果をもとにした英語授業改善プロジェクトにおける小中連携]     C --&gt; E[中学2年を対象としたGTEC 検定の検定料の全額負担]     D --&gt; F[久留米市における外国語〔英語〕教育の充実と発展]     E --&gt; G[英語授業改善プロジェクトによる授業改善の取組及び英語学習への目標設定や学習モデル等の提供]     F --&gt; H[グローバル化が進む国際社会の中で生き抜くために必要な資質・能力の育成]     G --&gt; H         </pre> </div>				
事業目標 成果指標	「CEFR A1」相当以上の英語力を有すると思われる生徒の割合が全国と平均以上	R1 実績	R2 実績	R3 目標値	
		市 38.9% 全国 44.0%	市 不実施 全国 不実施	全国以上	

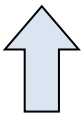


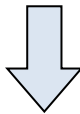
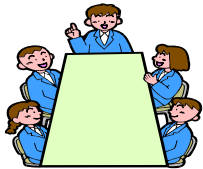
## 重点事業 8

事業名	教育 ICT 活用事業			担当課	教育 ICT 推進課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	拡充	事業費	R1 決算 10,882 千円	R2 予算 2,962,871 千円	R3 予算 419,220 千円
事業目的	<p>国の G I G A スクール構想に基づき、各学校に整備したコンピュータ端末と校内通信ネットワーク環境の効果的な活用を図り、誰一人取り残さない個別最適化された学び、協働的な学びの実現をめざすことによって、確かな学力や豊かな心・創造性の育成に努める。</p>				
事業内容	<p><b>1 個別最適化・協働化された授業実践の構築</b></p> <p>(1) 校内情報化推進体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○校内情報管理者、ICT活用コーディネーター、ICT推進リーダーの位置付け</li> <li>○ICT活用コーディネーターへの後補充（小10校・中10校）</li> <li>○ICT推進リーダー連絡協議会の設置や各担当者への研修の実施</li> </ul> <p>(2) ICTモデル校の設置（教育ICT実証校から継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○先進的な事例の構築と発信</li> <li>○全市的な共通教材の作成</li> </ul> <p>(3) G I G A スクールサポーターの派遣（全市的に5名）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○授業における端末等の使用方法の周知、校内研修への支援</li> </ul> <p>(4) 各種アプリケーションの導入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○授業支援ソフトやドリルソフト</li> <li>○デジタル教科書の試行的な導入</li> </ul> <p>(5) Google for Education パートナー自治体プログラムへの参画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○デジタルスキルトレーニング、人材交流、インターネットリテラシー教育の実施等</li> </ul> <p><b>2 ICT環境の整備</b></p> <p>(1) 専門業者による通信環境及び端末の運用・保守</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○専用ヘルプデスクの設置</li> <li>○1人1アカウントの管理・運用</li> </ul> <p>(2) 貸出用 Wi-Fi ルーターの活用</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;"><b>【ICT環境の整備状況】</b></p> <p>■Wi-Fi 環境：R2年度に市立学校64校への整備を完了</p> <p>■端末：R2年度に Chromebook 23,234 台を配備、R3年度に 4,049 台を追加、iPad を 224 台配備予定</p> </div>				
事業目標 成果指標	コンピュータ等の ICT を活用した授業を週1回以上やっている」と答える児童生徒の割合が増加する。	R1 実績	R2 実績	R3 目標値	
		小 28.0% 中 25.4%	小 22.8% 中 28.5%	小 30.0% 中 30.0%	

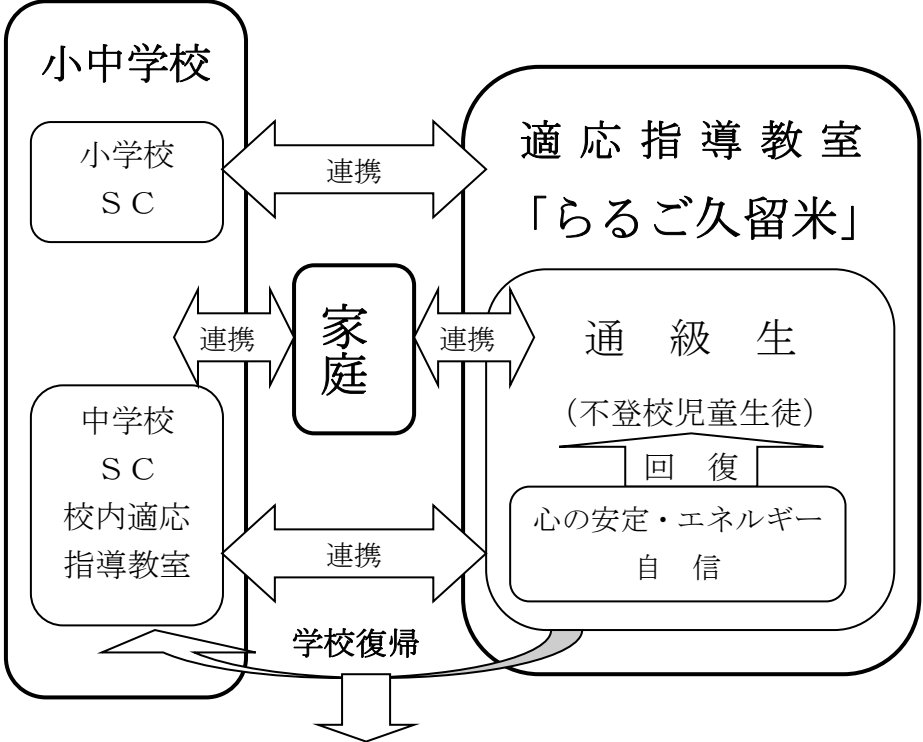
## 重点事業 9

事業名	小学校不登校対応総合推進事業			担当課	学校教育課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	R1 決算	R2 予算	R3 予算
			13,504 千円	15,695 千円	14,098 千円
事業目的	小学校において、不登校及び不登校傾向、生徒指導上の課題のある児童に対する早期からの支援を充実させることで、不登校や不登校傾向の解消、問題行動の解決を図る。				
事業内容	<p>① 不登校及び不登校傾向児童の解消を図るため、小学校に生徒指導サポーターを配置する。</p> <p>② 生徒指導サポーターの主な役割は以下のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>不登校及び不登校傾向のある児童の保護者への家庭訪問や支援</li> <li>学級担任と生徒指導担当との連携による児童への支援</li> <li>民生委員・児童委員、関係機関等との連携を図ったうえでの保護者や児童への支援</li> </ul> <p>③ 生徒指導サポーター研修会の実施</p> <p>児童の実態や生徒指導サポーターの役割についての講話、各学校の取組の交流などを行い、支援の充実を図る。</p>				
	<p>The diagram illustrates the role of a Student Guidance Supporter (生徒指導サポーター). At the top, a person icon represents the supporter, with a dashed box listing potential roles: 民生委員・児童委員 (Minsheiwai/Children's Committee), 元PTA役員・元教員 (Former PTA Executive/Former Teacher), and 元特別支援教育支援員等 (Former Special Support Education Supporter, etc.). Below this, the supporter is shown interacting with school staff (management, class teacher, guardian, other teachers) through '援助相談' (Assistance Consultation) and '連携' (Cooperation). The supporter also provides '援助・相談' (Assistance/Consultation) and '必要に応じて家庭訪問' (Home visits as needed) to the child and guardian. The supporter is also linked to '関係機関' (Related Organizations) including the Education Commission, Family Child Consultation Course, Community Center, and Child Consultation Office, with '援助相談' (Assistance Consultation) and '連携' (Cooperation) indicated.</p>				
事業目標 成果指標	不登校児童の割合が 全国平均以下	R1 実績	R2 実績	R3 目標値	
		市 0.6 全国 0.8	市 集計中 全国 R3.10月公表	全国平均 以下	

## 重点事業 10


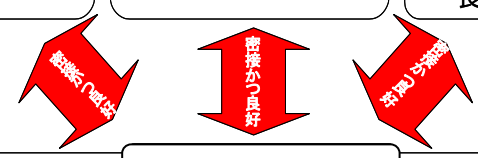

事業名	中学校不登校対応総合推進事業			担当課	学校教育課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	R1 決算	R2 予算	R3 予算
			29,356 千円	34,344 千円	30,912 千円
事業目的	中学校の不登校及び不登校傾向の生徒に校内の居場所をつくり、生徒指導、進路指導及び学習支援を行うことで、段階的に教室復帰ができるように支援する。				
事業内容	<p>① 全ての中学校に、不登校及び不登校傾向の生徒に校内の居場所をつくるため、校内適応指導教室を設置し、校内適応指導教室助手を配置する。</p> <p>② 適応指導教室では、学習支援を行い生徒の進路獲得をめざすとともに、相談活動を通して生徒のストレスの軽減や不登校の原因を探り、学級復帰への適切な支援を行う。また、生徒・保護者と学校との連携体制づくりの支援にあたる。</p> <p>③ 校内適応指導教室助手を対象とした研修会を行い、実態把握や各学校の取組の交流を通して効果的な適応指導教室の運営を図る。</p>				
	<p style="text-align: center;"><b>校内適応指導教室</b></p> <p>不登校生徒に校内での居場所をつくり、学級復帰への支援を行う。</p>		<p style="text-align: center;"><b>校内適応指導教室助手</b></p> <p>学習支援や教育相談活動ができる者として、校長の推薦により教育委員会が認める者</p>		
<p>学校復帰 </p> 				<p>学級復帰 </p> 	
事業目標 成果指標	不登校生徒の割合が全国平均以下		R1 実績	R2 実績	R3 目標値
			市 2.9 全国 4.1	市 集計中 全国 R3.10月公表	全国平均以下

## 重点事業 1 1

事業名	不登校児童生徒対策事業			担当課	青少年育成課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	R1 決算	R2 予算	R3 予算
			6,499 千円	8,404 千円	8,523 千円
事業目的	<p>学校に行きたくても行けない児童生徒に対し、適応指導教室「らるご久留米」での様々な体験活動や学習指導、臨床心理士によるカウンセリングを通して、心の安定と心のエネルギーの回復、さらには自信の回復に努めながら学校復帰を促し、社会的自立への支援を行う。</p>				
事業内容	<p>○ 成果指標は、H30 : 58.8%、R1 : 53.5%、R2 : 54.5%となっている。 そこで、次年度の成果指標を 70%以上とするために、教育相談等をより丁寧に行うとともに、学級担任やSSW等と連携し、らるごへの通級を促す。</p> <p>○ 体験活動を多く取り入れて成功体験から自信を付けさせる。十分な準備と新型コロナ対策を講じながら、新しい体験活動の充実を図る。</p>  <p style="text-align: center;"><b>社会的自立への支援</b></p>				
事業目標 成果指標	通級率 50%を超える通級生の割合	R1 実績	R2 実績	R3 目標値	
		53.5%	54.5%	70%以上	



## 重点事業 1 2


事業名	生徒指導充実事業			担当課	学校教育課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	R1 決算 11,805 千円	R2 予算 16,107 千円	R3 予算 22,476 千円
事業目的	<p>中学校で生徒指導に対応する教員が生徒指導の諸問題への早期対応と解決を図っていくことのできる環境を整備する。また、生徒指導連絡協議会への活動助成を行う。</p>				
事業内容	<p>① 中学校で生徒指導に対応する教員が、以下に示すような生徒指導上の諸問題に対応できるように非常勤講師を配置する。</p> <p>ア いじめ、不登校の未然防止や早期発見・対応の取組、問題行動の未然防止の取組と問題解消に向けた生徒への対応</p> <p>イ 保護者に対する支援・相談</p> <p>ウ 学校内におけるチーム指導体制の構築・支援</p> <p>エ 関係機関等との密接かつ良好な関係づくり</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p style="text-align: center; background-color: #00a0e3; color: white; padding: 2px;">地域</p> <p>校区青少年育成協議会 主任児童委員 コミュニティーセンター</p> <p>○地域との密接かつ良好な関係づくり</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p style="text-align: center; background-color: #00a0e3; color: white; padding: 2px;">家庭</p> <p style="text-align: center;"></p> <p>○保護者に対する支援、相談</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p style="text-align: center; background-color: #00a0e3; color: white; padding: 2px;">関係機関</p> <p>他の中学校 児童相談所 警察署 家庭裁判所 青少年育成課</p> <p>○関係機関との密接かつ良好な関係づくり</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> <p>密接かつ良好な関係づくり</p>  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 100%;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p style="text-align: center; background-color: #ffff00; border-radius: 50%; padding: 5px;">生徒への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○日常の行動観察と指導</li> <li>○相談業務</li> <li>○生徒の実態把握(未然防止)</li> <li>○問題行動生徒への直接指導、支援</li> <li>○不登校生徒対応</li> </ul> </div> <div style="width: 30%; text-align: center;"> <p>生徒指導に対応する教員</p> <p style="background-color: #00a0e3; color: white; padding: 2px; display: inline-block;">学校</p> <p></p> </div> <div style="width: 30%;"> <p style="text-align: center; background-color: #ffff00; border-radius: 50%; padding: 5px;">校内体制づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○校内チーム体制の構築</li> <li>○教職員へのサポート</li> <li>○教職員等への研修 等</li> </ul> </div> </div> </div> <p>② 生徒の健全育成及び問題行動の防止を図ることを目的に活動する生徒指導連絡協議会に対し、活動助成を行う。</p>				
事業目標 成果指標	生徒 1,000 人当たりの いじめの認知件数が 全国平均以上	R1 実績 市 23.3 件 全国 32.8 件	R2 実績 市 集計中 全国 R3.10 月公表	R3 目標値 全国平均 以上	



重点事業 13-1

事業名	スクールカウンセラー活用事業 (小・特別支援学校・高校)			担当課	学校教育課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	R1 決算 3,582 千円	R2 予算 5,659 千円	R3 予算 2,888 千円
事業目的	学校の教育相談機能を高め、いじめ・不登校等の生徒指導上の諸問題の解決や発達障害等の教育上特別の支援を必要とする児童生徒の学校生活へのよりよい適応を促すための支援、また、保護者の不安の解消、医療機関との連携の充実を図る。				
事業内容	<p>① スクールカウンセラーを市立の全小学校、特別支援学校、高校に配置し、児童生徒、保護者及び教職員等へのカウンセリング等を行う。</p> <p>② スクールカウンセラーの要請に基づき、小児リエゾンドクターが児童、保護者及び教職員へのカウンセリングを行う。</p> <div style="text-align: center;"> <pre> graph TD     A[福岡県臨床心理士会より推薦を受けたスクールカウンセラー 又は市が任用するスクールカウンセラー] --&gt; B[SCの要請に基づき小学校へ派遣]     B --&gt; C[小児リエゾンドクター 児童精神科医師 1名が対応]     C --&gt; D[市立の全小学校、特別支援学校、高校に配置 年間20回派遣 西国分小、金丸小、東国分小、御井小、南小、合川小、 特別支援学校、南筑高校 年間10回派遣 上記以外の小学校、久留米商業高校]     D --&gt; A     </pre> </div>				
事業目標 成果指標	全国学力・学習状況調査(設問がない場合は市学力・生活実態調査)で「学校に行くのが楽しい」の肯定的回答の割合が全国平均以上	R1 実績 市 85.1% 全国 85.8% 全国学力・学習状況調査	R2 実績	R3 目標値 全国平均以上	


## 重点事業 13-2

事業名	スクールカウンセラー活用事業 (中学校)			担当課	学校教育課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	R1 決算	R2 予算	R3 予算
			9,828 千円	10,584 千円	10,584 千円
事業目的	<p>学校の教育相談機能を高め、いじめ・不登校等の生徒指導上の諸問題の解決や発達障害等の教育上特別な支援を必要とする児童生徒の学校生活へのよりよい適応を促すための支援、また、保護者の不安の解消、医療機関との連携の充実を図る。</p>				
事業内容	<p>① スクールカウンセラーを市立の中学校に配置し、児童生徒、保護者及び教職員等へのカウンセリング等を行う。</p> <p>② スクールカウンセラーは、毎週1回来校し、生徒・保護者・教職員へのカウンセリングや教育相談及び生徒指導部会等の会議に参加する。</p> <p>③ 県からの配置時間(週8時間4校、週4時間13校)に、本事業による配置(週4時間13校)を合わせて、全中学校に週8時間の配置を行う。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p><b>市立中学校におけるスクールカウンセラーの配置状況 (一週当たり8時間×35週)</b></p> <p>① 市と県による配置校12校 1校当たり(市4H+県4H)×35週 江南中・櫛原中・牟田山中・高牟礼中・明星中・青陵中 荒木中・宮ノ陣中・田主丸中・屏水中・北野中・三潁中</p> <p>② 県による配置校5校 1校当たり(県8H×35週) 城南中・良山中・諏訪中・城島中・筑邦西中</p> <p>③ 県によるスーパーバイザー配置校1校 県4H×3回×35週 諏訪中に配置</p> </div> 				
事業目標 成果指標	<p>全国学力・学習状況調査(設問がない場合は市学力・生活実態調査)で「学校に行くのが楽しい」の肯定的回答の割合が全国平均以上</p>	<p>R1 実績</p> <p>市 80.7% 全国 81.9%</p> <p>全国学力・学習状況調査</p>	<p>R2 実績</p>	<p>R3 目標値</p> <p>全国平均以上</p>	

## 重点事業 1 4

<b>事業名</b>	<b>スクールソーシャルワーカー活用事業</b>			<b>担当課</b>	学校教育課
<b>事業種別</b> <small>※以下から選択 (新規・拡充・継続)</small>	継続	事業費	<b>R1 決算</b>	<b>R2 予算</b>	<b>R3 予算</b>
<b>事業目的</b>	学校・家庭・関係機関の協働体制を築くための支援を行い、困りごとを抱えた児童生徒がおかれた環境へ働きかけ、課題解決への対応を図る。				
<b>事業内容</b>	<p>           ① 社会福祉士や精神保健福祉士の資格を有し、福祉サービスについての専門的知識を有するスクールソーシャルワーカーを配置する。            ② スクールソーシャルワーカーの活用によって学校・家庭・関係機関が協働して子どもたちの抱える状況の改善を図る。            ア 困難を有する児童生徒について、福祉的な視点からの情報収集            イ 課題の分析（アセスメント）            ウ 学校との協働による支援計画の作成            エ ケース会議開催のための個別的な支援方針や支援内容に係る調整            オ 学校、家庭、関係機関等による連携ネットワークの構築および連携のための連絡調整         </p> <p> <b>スクールソーシャルワーカーの役割</b> </p>				
<b>事業目標 成果指標</b>	① 支援件数：前年度以上 ② 関係機関とのケース会議：前年度以上	<b>R1 実績</b>	<b>R2 実績</b>	<b>R3 目標値</b>	
		① 160 件 ② 188 件	① 集計中	前年度以上	

## 重点事業 15

事業名	学校施設の整備充実事業			担当課	学校施設課	
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	R1 決算	R2 予算		R3 予算
			小 471,277 千円 中 31,606 千円	小 2,417,953 千円 中 606 千円	小 475,521 千円 中 5,106 千円	
事業目的	児童生徒の安全を確保し、快適な学習環境づくりに向けて、増改築事業等の整備により学校施設の整備充実を図る。					
事業内容	<p>① 校舎等改築事業</p> <p>学校施設の老朽化と学校を取り巻く社会情勢の変化に対応するために、計画的・効率的に改築工事を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・篠山小校舎改築事業（防球フェンス工事等）</li> <li>・京町小校舎改築事業（旧校舎解体、防球フェンス工事等）</li> </ul> <p>② 校舎増築事業</p> <p>学校規模による特別教室不足及び児童数の増加により、校舎増築を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山川小学校校舎増築事業（外構工事）</li> </ul> <p>令和2年度の整備実績</p>  <p>山川小</p>					
事業目標 成果指標	各々の事業進捗率の目標値達成	<b>R1 実績</b> ◆改築事業 篠山（旧校舎解体） 進捗：100% 京町（旧屋体解体工事） 進捗：100% （校舎改築工事） 進捗：15.8% 屏水（東校舎外壁・防水改修工事等） 進捗：100% ◆増築事業 南（増築工事） 進捗：30% 山川（増築工事） 進捗：19% 小森野（基本・実施設計） 進捗：100% 三潴（実施設計） 進捗：100% 西国分（実施設計） 進捗：50%	<b>R2 実績</b> ◆改築事業 篠山（クラウド設計・ブロック塀改修） 進捗：100% 京町（校舎改築工事） 進捗：100% ◆増築事業 南（増築工事・既存校舎改修工事） 進捗：100% 山川（増築工事） 進捗：100% （外構工事） 進捗：40% 三潴（増築工事） 進捗：100% 西国分（実施設計） 進捗：100% （増築工事） 進捗：100%	<b>R3 目標値</b> ◆改築事業 篠山（防球フェンス工事等） 進捗：100% 京町（旧校舎解体・防球フェンス工事等） 進捗：100% ◆増築事業 山川（外構工事） 進捗：100%		

## 重点事業 16

事業名	学校施設の長寿命化事業			担当課	学校施設課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	R1 決算	R2 予算	R3 予算
			小 370,706 千円 中 186,528 千円 特 35,081 千円 高 51,509 千円	小 471,325 千円 中 126,548 千円 高 8,500 千円	小 333,905 千円 中 129,689 千円 特 38,466 千円 高 16,625 千円
事業目的	学校施設における建替コストの縮減、改修時期の調整による財政の平準化、環境負荷の低減などを図るため、外壁・防水改修工事等の施設の長寿命化を図る。				
事業内容	<p>令和3年度 学校施設の主な整備内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>校舎外壁改修工事2校（犬塚小、西牟田小） 【設計業務委託3校（東国分小、城南中、田主丸中）】</li> <li>校舎防水改修工事6校（小森野小、※大善寺小、※善導寺小、江上小、明星中、※南筑）</li> <li>校舎屋根改修工事2校（犬塚小、西牟田小）</li> <li>校舎便所改修工事5校（※東国分小、大橋小、西牟田小、宮ノ陣中、特別支援） 【設計業務委託3校（上津小、犬塚小、荒木中）】</li> <li>屋体屋根改修工事1校（明星中）</li> <li>屋体床改修設計業務託1校（三潞小）</li> </ul> <p style="text-align: right;">※は設計を含む</p> <p>令和2年度の主な学校施設の整備実績</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>外壁改修</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>便所改修（差し替え予定）</p> </div> </div>				
事業目標 成果指標	外壁改修率及びトイレ改修率の上昇	R1 実績	R2 実績	R3 目標値	
		外壁改修率 (モルタル落下対策) 90.0%	外壁改修率 (モルタル落下対策) 91.5%	外壁改修率 (モルタル落下対策) 91.5%予定	
		トイレ改修率 (校舎ドライ化) 77.6%	トイレ改修率 (校舎ドライ化) 79.4%	トイレ改修率 (校舎ドライ化) 81.2%予定	

## 重点事業 17

事業名	教職員研修事業			担当課	教育センター
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	R1 決算	R2 予算	R3 予算
			12,239 千円	12,691 千円	12,560 千円
事業目的	教育の専門家として、自ら学び続ける教職員を育成するために、育成指標に基づくキャリアステージに応じた研修や本市の教育課題に対応した研修を計画的に実施し、教職員の実践的指導力の向上を図る。				
事業内容	<p>(1) 基本研修</p> <p>経験年数や職務に応じた資質能力の向上を図る研修（受講対象者を特定した悉皆研修）</p> <p>① 経年研修（15講座）</p> <p>教育公務員特例法に基づく、初任者研修及び中堅教諭等資質向上研修のほか、経験年数に応じて教職員に必要な知識や技能（実践的指導力）、態度を養うための研修を行う。</p> <p>〈改善点・工夫点〉講義では、国や県の教育の動向に触れるとともに、受講者がより主体的に研修に参加できるように、演習や協議等、内容を吟味し、適宜取り入れる。</p> <p>② 職務研修（8講座）</p> <p>新たに任命された校長、副校長、教頭、主幹教諭等の研修及び新たに発令された主任主事の職務に関する専門的な研修を行い、学校経営能力や当該職務の遂行能力向上を目指す。</p> <p>〈改善点・工夫点〉職務の内容や役割を講義等でさらに明確に示すために、関係各課との連携を密に行う。</p> <p>(2) 課題研修（18講座）</p> <p>教育課題に基づき、各分掌業務を担当する教職員を対象として、職能に応じた専門的な知識・技能の習得と実践的指導力の向上を図る研修</p> <p>〈改善点・工夫点〉社会情勢、教育を取り巻く情勢、市の教育課題を考慮し、内容の精選・重点化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 校長、副校長、教頭を対象とした管理職研修</li> <li>・ 学力向上、いじめ・不登校への対応、安全安心な学校生活の確保など、様々な教育課題の解決を目指した研修</li> </ul> <p>(3) 専門研修</p> <p>① 短期研修（18講座）</p> <p>教科等の学習指導や生徒指導、人権・同和教育、学校運営等、教職員のキャリアステージに応じて専門性を高める研修（希望受講）</p> <p>② 断続研修（研修員12名以内）</p> <p>「学びをつなぐ授業」の充実に向けた教育力の育成を目指し、1年間を通じて断続的に授業力を高める研修を行い、各教科・領域における専門的な知識と指導力を持った学び続ける人材を育成する研修</p>				
事業目標 成果指標	研修アンケートで「役にたった」 （大変満足・満足）と回答した者の割合 95%以上		R1 実績	R2 実績	R3 目標値
			99.4%	99.4%	95.0%以上



## 重点事業 18

事業名	学校における働き方改革推進事業		担当課	教職員課	
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	R1 決算	R2 予算	R3 予算
			699 千円	2,722 千円	3,768 千円
事業目的	<p>学校における働き方改革に関する総合的な方策に関する答申（中央教育審議会）等を受け、勤務時間を意識した働き方改革を進め、教職員の業務改善の取組を推進し、勤務環境の整備のための支援を充実させ、教職員の多忙化解消を図る。ひいては、教員の専門性を高め、より分かりやすい授業を展開するなど教育活動の充実により、より短い勤務で高い成果を維持・向上させることを目的とする。</p>				
事業内容	<p>① 正確な勤務実態の把握 IC タイムレコーダーの全校設置により、勤務実態の客観的把握を行う。</p> <p>② 勤務時間外の自動応答メッセージによる電話対応 令和2年度から全校設置。時間外は業務に集中することが可能となった。</p> <p>③ 学校閉庁日 夏季休業期間の8月12日から16日を学校閉庁日とする。</p> <p>④ スクール・サポート・スタッフ 令和3年度は19学級以上の学校を対象に、教材準備や消毒作業のサポートを行うスタッフを配置する。</p> <p>⑤ 時間外在校等時間の上限規制（令和3年度から）（予定） 時間外在校等時間の上限を超えないよう業務量の管理を行うために、久留米市立小中学校等管理規則の一部改正を行う。</p> <p><b>参考値</b> 月80時間以上の超過勤務を行っている本市の教員の割合          ※令和元年度(5月から3月まで)の平均・・・小学校9.9% 中学校19.6%          ※令和2年度(4月から1月まで)の平均・・・小学校5.5% 中学校13.3%          &lt;参考&gt;平成29年度文部科学省による調査・・・小学校33.5% 中学校57.6%</p> <pre>         graph TD             A[小学校長会] --- B[久留米市立学校における働き方改革推進本部]             C[中学校長会] --- B             B --&gt; D[勤務実態の正確な把握と長時間勤務是正に向けた数値目標の設定]             D --&gt; E[久留米市立学校における業務改善方針・計画]             E --&gt; F[予算が前提となる取組]             E --&gt; G[必ずしも予算が前提とはならない取組]             F --&gt; H[具体的な検討]             G --&gt; I[具体的な推進]             H --&gt; J[部会等：チームリーダー会議、校長・教頭・学校事務職員との合同部会]             I --&gt; J             style F fill:#ffffcc             style G fill:#ffffcc             style J fill:#d3d3d3             </pre>				
事業目標 成果指標	ストレスチェック実施率を向上させ、ストレス要因として事務的な業務量をあげる職員を10%以下にする。	R1 実績	R2 実績	R3 目標値	
		実施率：91.0% 事務的業務量：13.3%	実施率：94.6% 事務的業務量：13.2%	実施率：100.0% 事務的業務量：10.0%	



## 重点事業 19

事業名	学校 ICT 環境整備事業			担当課	教育 ICT 推進課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	R1 決算	R2 予算	R3 予算
			144,012 千円	140,008 千円	138,886 千円
事業目的	<p>ファイル共有サーバの設置や学校サーバの一元化による学校イントラネット環境を構築することにより、学校が取り扱うデータの保護やセキュリティを強化するとともに、優れたデジタルコンテンツ等、学校間の情報の共有化を促進する。また、統合型校務支援システムを導入することにより、校務の効率化に資する。</p>				
事業内容	<p><b>1 学校イントラネットの運用・維持管理</b> 市立小・中・特別支援学校及び教育部の範囲で安全にデータ通信を行える学校イントラネット環境の安定的な運用を行い、活用を促進する。 (1) 学校における学習指導や家庭学習に役立つ教材等の共有 ① 学習指導案や ICT 教材等を保存し、学習指導に役立てる。 特に、保存しているコンテンツについて積極的に広報し、その活用を図るよう留意する。 ② 補充教材を保存し、補充学習や家庭学習に役立てる。 (2) 教職員研修教材の発信 教育センターにおける調査研究の成果物や研修教材、外部講師の講話資料等を保存し、校内研修での活用を促進する。特に、調査研究の成果物については、集合研修の講義の際に活用するよう留意する。</p> <p><b>2 校務支援等システムの運用・保守</b> 児童生徒一人一人の情報(成績処理・日常所見等の教務関連事務、転出入・出欠管理等の学籍関連事務、指導要録、健康観察等の保健関係事務)をデータベース化し、学習指導や生徒指導に活用することにより、校務の効率化を図る。</p> <p><b>3 学校サーバー一元化の運用・保守</b> データの保護、セキュリティの強化のために一元化した学校サーバの安定的な運用・保守を行う。</p>				
事業目標 成果指標	① 学校イントラネット 共有化指導案総数 410 件以上  ② 校務支援等システム 支援件数 1 日平均 24 件以下	R1 実績	R2 実績	R3 目標値	
		① 指導案数 年 50 件 総数 330 件  ② 30.90 件	① 指導案数 年 30 件 総数 360 件  ② 29.49 件	① 指導案数 年 50 件 総数 410 件  ② 24 件以下	

## 重点事業 20

事業名	小・中学校コミュニティ・スクール (久留米版) 推進事業			担当課	学校教育課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	R1 決算	R2 予算	R3 予算
			26,379 千円	26,835 千円	26,785 千円
事業目的	学校・家庭・地域が協働して行う様々な体験活動や教育活動を充実するための支援を行うことで、地域の教育力を学校運営に取り入れ、地域とともにある学校づくりを推進する。				
事業内容	<p>① 社会に開かれた教育課程の実現のため、地域人材の活用や地域での体験活動の充実を図り、学校規模に応じた補助金の交付を行う。</p> <p>② 各学校の教育課題に対し、家庭・地域と協働して解決に取り組めるよう地域学校協議会から学校・家庭・地域それぞれに提言を行い、それを実働化させるための地域学校協議会プランの計画内容に応じた補助金の交付を行う。</p> <p>③ 地域学校協議会会長等研修会を行い、地域学校協議会に期待される役割や各学校の実践交流を通して、学校・家庭・地域が連携・協働した活動の充実を図る。</p>				
	<pre> graph TD     A[学校が抱える教育課題] --&gt; B[地域学校協議会]     B --&gt; C[課題の共有 学校・家庭・地域への提言]     C --&gt; D[コミュニティ・スクール推進委員会]     D --&gt; E[学校・家庭・地域の役割の確認と取組の具体化]     E --&gt; F1[学校規模に応じた 交付金の活用 地域の人・もの・こと を活用する費用]     E --&gt; F2[地域学校協議会提言に応じた 交付金の活用 地域学校協議会の提言を実働化 させる上で必要な費用]     E --&gt; F3[地域学校協議会 委員への報償費]     F1 --&gt; G1[働きかけ]     F2 --&gt; G2[働きかけ]     F3 --&gt; G3[働きかけ]     G1 --&gt; H1[地域]     G2 --&gt; H2[学校]     G3 --&gt; H3[家庭]     H1 &lt;--&gt; H2     H2 &lt;--&gt; H3     H1 --&gt; I1[実働]     H2 --&gt; I2[実働]     H3 --&gt; I3[実働]     I1 --&gt; J[学校が抱える教育課題の解決]     </pre>				
事業目標 成果指標	各学校の地域学校協議会提言 の達成率が前年度以上	R1 実績	R2 実績	R3 目標値	
		75.5%	集計中	前年度実績 以上	

## 重点事業 2 1

事業名	人権教育・啓発推進事業			担当課	学校教育課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	R1 決算	R2 予算	R3 予算
			6,910 千円	7,110 千円	7,060 千円
事業目的	<p>自他の人権を守り、差別をなくす意志と実践力を身に付け豊かな人権感覚をもった市民・児童生徒の育成を図るために、学園コミュニティ（保育園、幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校、高等学校他）及び地域コミュニティ（家庭、小学校区人権啓発推進協議会、企業他）が連携・協働し、地域の実態や課題に応じた人権教育・啓発活動を推進する。</p>				
事業内容	<p>① 児童生徒一人ひとりの進路・学力の保障、人権尊重の理念の理解・体得を図るために、学園コミュニティでの取組（校種間の連携の中で、連絡会・授業公開・実践レポート交流会・人権カリキュラムの検討・研修会等の開催）への支援を行う。</p> <p>② 地域コミュニティが行う（家庭、地域住民、企業等が参加する人権講座等の開催）への支援を行う。</p> <p>③ 同和問題、女性、障害者、外国人、LGBT等の人権課題を解消する主体者を育成するために、学園コミュニティと地域コミュニティとが協働して行う取組（人権フェスタ、人権講座、人権フィールドワーク等）への支援を行う。</p> <div style="text-align: center;"> <p>The diagram illustrates the support structure for the project. At the top, a blue oval labeled '行政' (Administration) has a large blue arrow pointing down to a yellow oval labeled '中学校区人権のまちづくり推進協議会' (School District Human Rights Promotion Association). To the right of this arrow is the text '支援・指導・補助' (Support, Guidance, Assistance). The yellow oval contains two sub-ovals: a yellow one on the left labeled '学園' (School) with sub-points '保・幼・小・中・特支・高など' (Nursery, Kindergarten, Elementary, Middle, Special Support, High, etc.), and an orange one on the right labeled '地域' (Community) with sub-points '家庭・校区人権協' (Home, School District Human Rights Association) and '企業など' (Company, etc.). A double-headed orange arrow labeled '協力・連携' (Cooperation, Collaboration) connects the two sub-ovals.</p> </div>				
事業目標 成果指標	各中学校区人権のまちづくり推進協議会の活動の活性化を図り、「人権意識を高めたい」市民の割合 56%以上	R1 実績	R2 実績	R3 目標値	
		55.7% 【参考】 市民意識調査		56%以上 【参考】 市民意識調査	

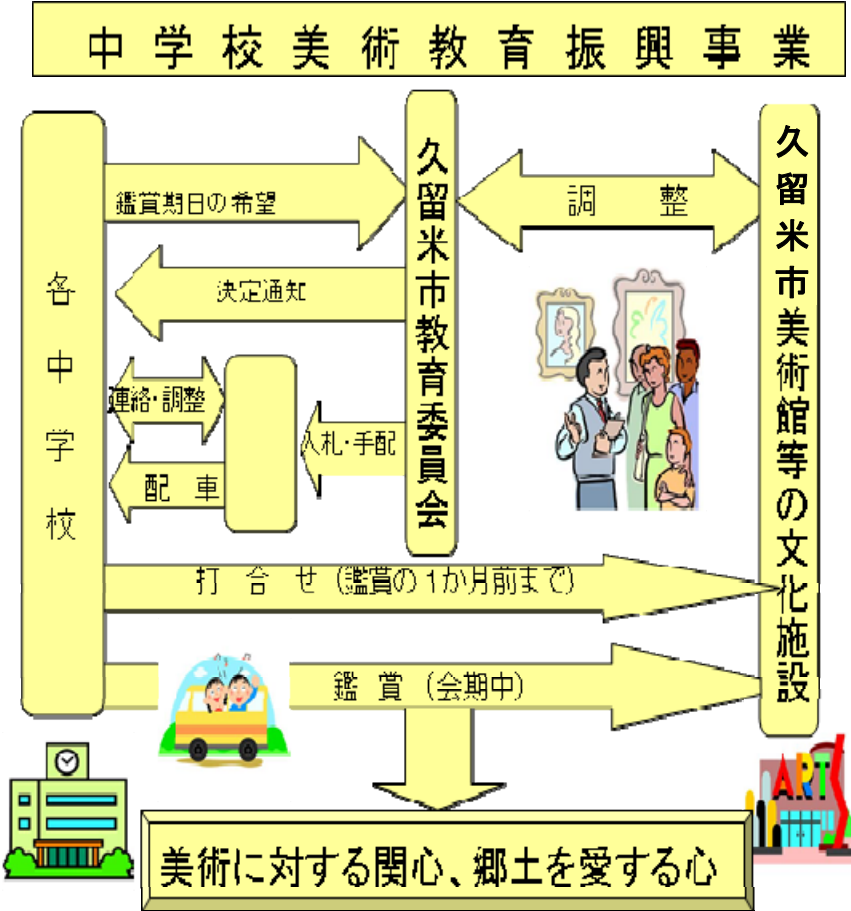
## 重点事業 2 2

事業名	食育プログラム研究推進事業			担当課	学校教育課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	R1 決算	R2 予算	R3 予算
			833 千円	882 千円	871 千円
事業目的	子どもたちに食に関する正しい知識と望ましい食習慣、基本的な生活習慣を育成する。				
事業内容	<p>① 久留米市栄養教諭・学校栄養教員等の取組を生かし、充実発展させるために、以下の取組を行い、食育プログラムの研究の推進を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>朝食摂取や栄養バランスのよい食事など食に関する授業の充実</li> <li>食に関する講演会の実施</li> <li>よりよい食生活を築くための情報を発信する動画作成・配信、チラシ作成・配布、啓発</li> <li>食への関心を高める親子料理教室の開催→コロナによる影響で中止</li> <li>児童生徒の食に関する実態の調査・分析研究</li> <li>栄養教諭等が未配置の中学校への出前授業</li> </ul> <p>② 食育推進校の PTA を中心に行う食育の取組をさらに充実発展させるため、以下の取組を行い、朝食欠食率の減少に向けた啓発の促進をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>食育推進校のポスター設置</li> <li>子ども及び保護者への意識調査と分析、結果の公表</li> <li>生活リズムカードの実施</li> <li>食育に係る講演会の実施</li> </ul>				
<div style="border: 2px solid green; border-radius: 15px; padding: 5px; background-color: #e0ffe0; margin-bottom: 10px;"> <b>食に関する知識と望ましい食習慣と 基本的な生活習慣を身につけた子ども</b> </div>					
事業目標 成果指標	朝食を食べない児童生徒の割合（朝食欠食率）が前年度以下	R1 実績	R2 実績	R3 目標値	
		小学校 1.4% 中学校 2.6%	小学校 2.2% 中学校 3.0%	前年度実績 以下	

## 重点事業 2 3


事業名	医療的ケア対応事業			担当課	学校教育課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	拡充	事業費	R1 決算	R2 予算	R3 予算
			24,788 千円	29,285 千円	39,892 千円
事業目的	医療的ケアを必要とする児童生徒に対応するために、久留米特別支援学校に看護師を配置し、医療機関と連携した吸引・経管栄養・導尿等を実施することによって、子どもの状況に的確に対応できる安全な教育環境の整備を図る。				
事業内容	<p>① 久留米特別支援学校に在籍し、医療的ケア（吸引・経管栄養・導尿等）を必要とする児童生徒及び指定校の特別支援学級（病弱）に在籍し、常時の医療的ケア（吸引・人工呼吸器の管理等）を必要とする児童生徒を対象とする。（令和3年度20人）</p> <p>② 業務委託によって事業所から看護師を派遣する。（令和3年度：8時間配置1人・6時間配置8人・2時間配置5人の計14人）</p> <div style="text-align: center;"> <p style="text-align: center;"><b>医療的ケア対応事業</b></p> <p>指導医の委嘱 4H×3回 医療的ケアの技術、環境への助言</p> <p><b>指導医の配置</b>      <b>看護師派遣</b></p> <p>助言      ケア</p> <p><b>対象</b></p> <p>特別支援学校及び指定校の特別支援学級（病弱）に在籍する、医療的ケアの必要がある児童生徒</p> <p>学校生活への支援</p> <p>○給食時の経管栄養への対応 ○痰の吸引への対応等</p> <p>学級担任      連携      連携      保護者</p> <p>学習活動等の連絡      児童生徒の体調等の状況</p> <p style="text-align: center;"><b>学校生活への適応</b></p> <p>事業所による看護師派遣 8H 1人 6H 8人 2H 5人 年間215日程度</p> </div>				
事業目標 成果指標	医療的ケアを必要とする児童生徒のニーズに対応できる看護師を配置する		R1 実績	R2 実績	R3 目標値
			必要数9人 配置数9人	必要数12人 配置数12人	必要数14人 配置数14人

重点事業 2 4

事業名	中学校美術教育振興事業			担当課	学校教育課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	R1 決算	R2 予算	R3 予算
事業目的			中学生の美術に関する興味・関心を高め、豊かな心と郷土を愛する心を育む。	1,939 千円	2,968 千円
事業内容	<p>久留米市美術館における企画展・常設展の鑑賞のために、各中学校第1学年の生徒に対して、バスの借り上げを行う。事業の実施に当たっては、生徒アンケートや感想等を学校だより等で紹介し、効果の波及に努める。</p>  <p style="text-align: center;"><b>中学校美術教育振興事業</b></p> <p>各中学校 → 鑑賞期日の希望 → 久留米市教育委員会 → 調整 → 久留米市美術館等の文化施設</p> <p>久留米市美術館等の文化施設 → 決定通知 → 各中学校</p> <p>各中学校 ↔ 連絡・調整</p> <p>久留米市教育委員会 → 入札・手配 → 各中学校</p> <p>各中学校 → 配車 → 各中学校</p> <p>各中学校 → 打合せ (鑑賞の1か月前まで) → 久留米市美術館等の文化施設</p> <p>各中学校 → 鑑賞 (会期中) → 久留米市美術館等の文化施設</p> <p>久留米市美術館等の文化施設 → 美術に対する関心、郷土を愛する心</p>				
事業目標 成果指標	市学力・生活実態調査(中2)において「久留米の自然や文化、人々について学ぶことは好きである」の肯定的回答の割合の増加	R1 実績  71.5%	R2 実績	R3 目標値  R1 年度以上	



## 重点事業 25

事業名	学校規模対策事業			担当課	学校教育課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	R1 決算	R2 予算	R3 予算
			9,221 千円	60,390 千円	22,559 千円
事業目的	<p>市立小中学校では、学校規模に偏りが生じ、児童生徒の教育活動や学校生活上の影響が懸念されることから、小規模化や大規模化が進む学校における学校規模の適正化に向けた対策を進める。</p> <p>また、久留米市立小学校小規模化対応方針（平成30年10月策定）に基づき、小学校の小規模化への対応として、学校の統合を進めることで、より良い教育条件・教育環境の整備を図る。</p>				
事業内容	<p>① 「久留米市立小学校小規模化対応方針」では、検討の優先順位を、</p> <p>ア 既に複式学級が発生している学校</p> <p>イ 今後、複式学級の発生が見込まれる学校</p> <p>ウ 望ましい学校規模を下回る学校（全ての学年又は一部の学年において一学級編制となっている学校）</p> <p>としている。将来の児童数の推計等を見ながら、今後の対応ための調査や分析を進める。</p> <p>② 下田・浮島・城島小学校統合に伴い、下田地域並びに浮島地域から城島小学校へ通学支援のため、スクールバスを運行する。また、久留米市初の小学校統合であることから、統合後の課題等に対応していくため、「下田・浮島・城島小学校統合検証等委員会」を設置し、保護者や地域との協議を継続する。</p> <p style="text-align: center;">＜スクールバスの運行＞</p> <p style="text-align: center;">○下田地域：小型バス3台</p> <p style="text-align: center;">○浮島地域：小型バス2台</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>③ 小規模校の対策として、柴刈小学校において、小規模特認校制度を運用し、最寄りの駅から学校間の通学支援を行う。</p>				
事業目標 成果指標	小規模化や大規模化が進む学校における学校規模の適正化に向けた対策を進める	R1 実績	R2 実績	R3 目標値	
		○保護者、地域との協議 ○児童生徒数等調査分析	○第1次久留米市立小学校統合基本計画決定 ○下田・浮島・城島小学校統合	○今後の対応のための調査・分析 ○下田・浮島・城島小学校統合後の検証	



## 重点事業 26

事業名	地域生涯学習振興事業（委嘱学級）			担当課	生涯学習推進課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	R1 決算	R2 予算	R3 予算
			7,125 千円	7,410 千円	7,505 千円
事業目的	<p>市民が暮らす一番身近な地域である校区を単位として、教養の向上、健康福祉の増進、人権・同和問題や男女共同参画、環境、防災等の市民ニーズや地域課題に応じた生涯学習活動を推進し、事業を通じた地域コミュニティづくりを図るため、校区コミュニティ組織に対して、委嘱学級の運営に係る財政支援や指導者養成などの支援を行う。</p>				
事業内容	<div style="text-align: center;"> <pre> graph TD     A[市] -- "運営支援・開設支援 1学級あたり 95,000円補助" --&gt; B[校区コミュニティ組織]     B --&gt; C[委嘱学級]             </pre> </div> <p>全 46 校区の開設に向けて、取り組みを進めており、開設校区増に努めてきた。さらに校区や市民の方に拡げていくためにも、<u>未開設校区の働きかけ</u>や<u>校区訪問</u>・<u>学級訪問</u>等を実施し充実させていく。</p> <p>【学級】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆学習時間 年間 12 回（1 回 2 時間程度）</li> <li>◆学級編成 1 学級 15 人以上（<u>新入生 1 名以上</u>） <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者学級                      ・女性学級</li> <li>・まちづくり学級                ・家庭教育学級 など</li> </ul> </li> </ul> <p>【学習単元】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権・同和問題（必修）      ・男女共同参画（必修）</li> <li>・健康課題      ・ボランティア      ・地域課題      ・ICT に関する内容</li> <li>・福祉課題      ・環境課題              ・防災              など</li> </ul>				
事業目標 成果指標	校区開設学級の増加	R1 実績	R2 実績	R3 目標値	
		75 学級	78 学級	79 学級	

## 重点事業 27

事業名	体験活動推進事業（少年の翼事業）			担当課	生涯学習推進課										
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・ <b>継続</b> )	継続	事業費	R1 決算	R2 予算	R3 予算										
			2,767 千円	2,900 千円 補正後 0 千円	2,900 千円										
事業目的	次代を担う子どもが集い、沖縄での本研修を中心に数回の研修を通じて友情を深めながら、団体生活の楽しさを学び、団体や地域の活動に積極的に参加する子どもを育成することを目的とする。また、青年ボランティアの発掘及び機会提供を行い、次世代リーダー育成を促進する。														
事業内容	<table border="1"> <tr> <th>①指導員募集</th> <th>②研修生(子ども)募集</th> <th>③指導員研修</th> </tr> <tr> <td>3月中旬～ 4月下旬</td> <td>4月中旬～ 5月上旬</td> <td>5月下旬～ 6月下旬</td> </tr> <tr> <td>対象：18歳～ 39歳 (高校生除く) 人数：25名程度</td> <td>対象：小学5年生～ 中学生 人数：70名程度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 指導員同士の人間関係づくり</li> <li>● 安全管理に対する意識づくり</li> <li>● レクリエーション研修</li> <li>● 普通救命講習</li> </ul> </td> </tr> </table>			①指導員募集	②研修生(子ども)募集	③指導員研修	3月中旬～ 4月下旬	4月中旬～ 5月上旬	5月下旬～ 6月下旬	対象：18歳～ 39歳 (高校生除く) 人数：25名程度	対象：小学5年生～ 中学生 人数：70名程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 指導員同士の人間関係づくり</li> <li>● 安全管理に対する意識づくり</li> <li>● レクリエーション研修</li> <li>● 普通救命講習</li> </ul>			
	①指導員募集	②研修生(子ども)募集	③指導員研修												
	3月中旬～ 4月下旬	4月中旬～ 5月上旬	5月下旬～ 6月下旬												
	対象：18歳～ 39歳 (高校生除く) 人数：25名程度	対象：小学5年生～ 中学生 人数：70名程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 指導員同士の人間関係づくり</li> <li>● 安全管理に対する意識づくり</li> <li>● レクリエーション研修</li> <li>● 普通救命講習</li> </ul>												
<table border="1"> <tr> <th>④事前研修</th> <th>⑤本研修</th> <th>⑥事後研修</th> </tr> <tr> <td>7、8月(3日) 市内</td> <td>8月(4泊5日) 沖縄</td> <td>9月(1日) 市内</td> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 協力し合える関係づくり</li> <li>● 集団生活における規律の共有</li> <li>● 沖縄についての学習</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地元小学校との交流</li> <li>● 沖縄の海での自然体験</li> <li>● ひめゆりの塔での平和学習</li> <li>● 琉球ガラスコップの製作体験</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ふりかえり</li> </ul> </td> </tr> </table>			④事前研修	⑤本研修	⑥事後研修	7、8月(3日) 市内	8月(4泊5日) 沖縄	9月(1日) 市内	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 協力し合える関係づくり</li> <li>● 集団生活における規律の共有</li> <li>● 沖縄についての学習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地元小学校との交流</li> <li>● 沖縄の海での自然体験</li> <li>● ひめゆりの塔での平和学習</li> <li>● 琉球ガラスコップの製作体験</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ふりかえり</li> </ul>				
④事前研修	⑤本研修	⑥事後研修													
7、8月(3日) 市内	8月(4泊5日) 沖縄	9月(1日) 市内													
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 協力し合える関係づくり</li> <li>● 集団生活における規律の共有</li> <li>● 沖縄についての学習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地元小学校との交流</li> <li>● 沖縄の海での自然体験</li> <li>● ひめゆりの塔での平和学習</li> <li>● 琉球ガラスコップの製作体験</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ふりかえり</li> </ul>													
<p><b>研修生(子ども)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★ 学年や学校を超えた交流によるコミュニケーション能力</li> <li>★ 自ら考え行動する自立心</li> <li>★ 仲間を思いやれる優しさ</li> <li>★ 新しいことに挑戦する意欲</li> <li>★ 地域・学校の活動に進んで参加する積極性</li> </ul>															
<p><b>指導員</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★ 体験活動事業の運営についてのノウハウの習得</li> <li>★ 指導者としてのスキルの習得</li> <li>★ 地域活動への貢献</li> <li>★ 幅広い交友関係の構築</li> </ul>															
<p><b>今後の改善・工夫点</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修生の自立心、チャレンジ精神を育むための研修プログラムの構築支援。</li> <li>・ 研修生及び指導員が参加しやすい研修日程の検討。</li> <li>・ with コロナ時代に向けた事業の検討</li> </ul>															
事業目標 成果指標	・参加者の地域や学校等行事への参加意欲度 ・指導員の事業継続参加意欲度 ・次年度実施に向けた実行委員会の開催	R1 実績	R2 実績	R3 目標値											
		参加者 94% 指導員 75%	※新型コロナウイルス拡散防止の為中止	参加者 95% 指導員 75% 委員会 2回											

## 重点事業 28

事業名	歴史資料保存活用事業			担当課	文化財保護課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	R1 決算	R2 予算	R3 予算
			—	10,477 千円	9,251 千円
事業目的	歴史資料の保存と活用を進めることにより、市民がふるさとの歴史や風土など地域の歴史文化を学び、生涯を通じた学習の素材として活用し、郷土愛の醸成と、地域文化の未来への継承を図る。				
事業内容	<div style="text-align: center; border: 2px solid black; padding: 5px; background-color: #ffff00; margin-bottom: 10px;"> <b>歴史資料の保存と活用</b> </div> <div style="margin-bottom: 10px;"> <p>① 地域の歴史文化を学ぶための資料の調査・収集を行い、保存・修復及び、適正な収蔵・保管に努める</p> <p>② 収蔵資料を効果的に活用するため、展示・公開を図ることにより、郷土の歴史に関する市民の意識高揚を図り、地域文化の継承に役立てる</p> </div> <div style="text-align: center; margin-bottom: 10px;"> </div> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #e6e6fa; margin-bottom: 10px;"> <b>地域の歴史と文化の理解</b> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: 30%;"> <p>学校と連携し、むかしの暮らしを学び、久留米の成り立ちや風土を考える機会となる企画展を実施する。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: 30%;"> <p>生涯学習の一環として、既存の展示スペースを使用した久留米の歴史を学ぶ企画展を実施する。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: 30%;"> <p>発掘調査や歴史資料の収集等による資料を整理・保存・管理・活用し、地域の文化を次世代につなぐ一助とする。</p> </div> </div> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p><b>今後の改善項目</b> 学校現場や地域との連携を強化し、情報発信、資料の貸し出し等の利用を増やしていく。</p> </div> <div style="text-align: center; margin-bottom: 10px;"> </div> <div style="text-align: center; border: 2px solid black; padding: 5px; background-color: #ffff00;"> <b>郷土愛の醸成と地域文化の未来への継承</b> </div>				
事業目標 成果指標	歴史資料の調査・保存・修復・収集・購入 歴史資料の活用 収蔵施設の整備 歴史資料のデータベース化	R1 実績	R2 実績	R3 目標値	
		—	企画展を2回実施	企画展を2回実施する。 企画展の内容充実を図る。	

## 重点事業 29

事業名	筑後国府跡歴史公園整備事業			担当課	文化財保護課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	R1 決算	R2 予算	R3 予算
			49,659 千円	6,000 千円	11,475 千円
事業目的	古代の役所跡である筑後国府跡を保存整備し、市民が身近な場所で歴史を感じるにより、地域や久留米市に対する愛着心を高めるとともに、文化財としての価値と魅力を未来に向けて継承する。				
事業内容	<p>① 史跡の適正な管理を通じて保存を図る。維持的措置として草刈り・清掃・見回り等を実施し、また、災害等に際して復旧作業を行うなど保存的措置を講じる。</p> <p>② 令和元年度に策定した『保存活用計画』に則り、計画的な土地の公有化を推進するとともに、整備基本計画の検討を行い、早期の歴史公園化を目指す。</p> <div style="text-align: center;"> <pre> graph TD     A[史跡の保存] --&gt; B[史跡の保護]     C[史跡の活用] --&gt; B     B --&gt; D[国指定史跡 筑後国府跡の価値と魅力を未来へ伝える]             </pre> <p> <b>史跡の保存</b>                  ・草刈り業務等による適正な管理                  ・公有化の推進                  ・保存活用計画の認定             </p> <p> <b>史跡の活用</b>                  ・ホームページ等による情報発信                  ・歴史公園整備基本計画の検討                  ・基本計画策定委員会の検討             </p> <p> <b>史跡の保護</b>                  歴史公園を整備することにより、憩いの場・地域活動の場・生涯学習の場・学校教育の場・歴史体験（探検）の場などを提供し、ライフステージのあらゆる場面での活用を図る。             </p> <p> <b>国指定史跡 筑後国府跡の価値と魅力を未来へ伝える</b> </p> </div>				
事業目標 成果指標	・Ⅱ期政庁地区内の用地交渉の継続 ・草刈り等管理業務の実施 ・文化財保護法に基づく保存活用計画の認定	R1 実績	R2 実績	R3 目標値	
		・公有化率 85.71→86.16% ・管理業務の実施 ・保存活用計画書策定・刊行	・物件等調査実施の承諾2件 ・管理業務の実施 ・保存活用計画書認定協議	・物件等調査2件 ・管理業務の実施 ・保存活用計画に基づく活用（地域ワークショップ）の開催	

## 重点事業 30

事業名	歴史ルートづくり事業			担当課	文化財保護課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	R1 決算	R2 予算	R3 予算
			18,208 千円	18,130 千円	10,456 千円
事業目的	久留米市内に数多く存在する歴史・文化遺産を整理・集積し、積極的な情報発信を行うことで、その魅力について市民への再発見を促すとともに、交流人口の増加を目指す。				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 歴史・文化遺産などのスポットについて、久留米ならではの魅力が際立つものを、時代・歴史的背景・伝承などの共通項目(=テーマ)で結びつけ、興味を引くようなストーリーとして組み立てる。</li> <li>○ それらのストーリーを構成する各スポットを紹介するイベント等を通じ、久留米の歴史の魅力を伝え集客につなげる。</li> <li>○ また、エリア内の歴史遺産の調査を推進し、基礎資料を作成するとともに歴史的背景の検証によるエリア固有のストーリーを創出する。</li> <li>○ 併せて、ストーリーの要所となるスポット拠点、及びスポット間の行程の整備を行い、安全安心なルートを確保する。</li> <li>○ 令和2年度は、歴史的節目である令和3年度の有馬家久留米入城400年をテーマに、歴史ストーリーをまとめたストーリーシートを作成した。</li> <li>○ 大名有馬家久留米入城400年という歴史的節目を、「歴史のまち久留米」を広くPRする好機ととらえ、魅力あるイベント等を実施する。 ※令和3年度は、本事業の関連部分を久留米入城400年事業として独立し、別事業として推進する。</li> <li>○ 本市の文化財マスタープランとして計画的かつ持続的な歴史や文化のまちづくりの実現を目的とした「文化財保存活用地域計画」の認定を目指す。</li> </ul>				
事業目標 成果指標	令和7年度までに新規に情報発信した歴史スポット数 180箇所	R1 実績	R2 実績	R3 目標値	
		歴史ルートを活用したイベント等による集客 実績 3,387 名	ストーリーシート作成1件 情報発信した歴史スポット数40箇所	ストーリーシート作成2件 文化財保存活用地域計画の国認定 地域の歴史遺産をテーマとしたワークショップ開催 情報発信した歴史スポット数23箇所	

### 重点事業 3 1

事業名	久留米入城400年事業			担当課	文化財保護課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	新規	事業費	R1 決算	R2 予算	R3 予算
			—	—	14,326 千円
事業目的	<p>令和3年度大名有馬家久留米入城400年という歴史的節目にあたり、「歴史のまち久留米」を広くPRし、市のブランド力向上に寄与する。</p> <p>また、市民と市が協働して魅力あるイベント等を実施し、交流人口の増加及び市の活性化を図る。</p>				
事業内容	<div style="text-align: center; border: 2px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <b>令和3年度 大名有馬家久留米入城400年 ～記念すべきメモリアルイヤー事業～</b> </div> <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">【多種多様なイベントの実施】</p> <p>8月：企画展開催・雅楽レクチャー 9月：久留米城下町めぐり・雅楽公演会・記念式典 11月：高良山シンポジウム開催</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;">【情報発信強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○市公式 LINE・HP・印刷物</li> <li>○新聞・ラジオ・TV</li> <li>○各種フリーペーパー等</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;">【民間等活用・市民との協働】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○400年関連商品開発</li> <li>○キャンペーンの実施</li> <li>○有馬記念館企画展同時開催</li> </ul> </div> </div> <div style="border: 2px solid red; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center; margin: 10px 0;"> <p><b>文化財保護意識の醸成</b> 「歴史のまち久留米」ブランディング強化 交流人口の増加</p> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> </div> <div style="text-align: center; border: 2px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <b>郷土愛の醸成と地域活性化</b> </div>				
事業目標 成果指標	・関連イベント等の円滑な推進 ・市公式LINE、HP、新聞、ラジオ、TV、各種フリーペーパー等による情報発信	R1 実績	R2 実績	R3 目標値	
		—	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関連イベント動員 10,000人</li> <li>・関連HPアクセス件数 (年間) 50,000件</li> </ul>	

## 重点事業 3 2

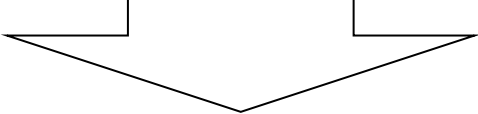
事業名	MICE誘致推進事業			担当課	体育スポーツ課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	R1 予算 57,392 千円	R2 予算 100,000 千円 補正後 6,629 千円	R3 予算 206,640 千円
事業目的	<p>スポーツによる地域活性化及び市のスポーツ振興を目的に、東京 2020 オリンピック・パラリンピックの事前キャンプを受け入れる。</p> <p>また、これを契機に、全国・九州規模のスポーツ大会や強化キャンプ等の誘致を推進する。</p>				
事業内容	<p>① 東京 2020 オリンピック・パラリンピック事前キャンプ関連事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2021 年に延期が決定したオリンピック・パラリンピックのケニア及びカザフスタンの事前キャンプを受け入れる。</li> <li>事前キャンプに向けて市民の機運を醸成する事業を推進する。</li> <li>2021 年の大会以降のレガシーとなるよう交流事業等に取り組む。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>事前キャンプ応援グッズの販売</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>陸上ケニア選手と中学生の交流</p> </div> </div> <p>② 大規模スポーツ大会誘致</p> <p>久留米アリーナをはじめとしたスポーツ施設を最大限活用し、競技団体等とともに大規模スポーツ大会の誘致を進める。</p> <div style="text-align: center;">  <p>平成 30 年にオープンした久留米アリーナ</p> </div>				
事業目標 成果指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプの実施、機運醸成</li> <li>大規模大会の誘致</li> </ul>	R1 実績	R2 実績	R3 目標値	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>ケニア共和国との交流 (スポーツ・教育)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京 2020 五輪・パラリンピック関連事業</li> <li>大規模大会誘致</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京 2020 五輪・パラリンピック事前キャンプ受入</li> <li>大規模大会誘致</li> </ul>	



### 重点事業 3 3

事業名	子どもの読書環境整備事業			担当課	中央図書館								
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	R1 決算	R2 予算	R3 予算								
			5,280 千円	5,977 千円	5,977 千円								
事業目的	<p>① 久留米市子どもの読書活動推進計画に基づき、子どもが読書を通じて心豊かな生活を送れるよう読書習慣の定着を進めるための環境を整備する。</p> <p>② 子どもと絵本をつなぐきっかけづくりを目的として、子どもの健やかな成長などにも効果があるブックスタート事業を実施する。</p>												
事業内容	<p>計画の基本方針</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 家庭・地域、学校等、行政の連携・協働の推進</li> <li>2. 子どもの読書活動のための環境整備の充実</li> <li>3. 子どもの読書活動推進を支える理解と関心の普及・促進</li> </ol> <p>5 2 の施策</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>家庭・地域</th> <th>幼稚園・保育所 認定こども園</th> <th>学校</th> <th>図書館</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ブックスタート 家読の推進等 (13 項目)</td> <td>読み聞かせ実施 絵本スペース整 備等 (3 項目)</td> <td>読書活動の推進 司書教諭・学校司 書の配置及び研 修充実等 (5 項目)</td> <td>児童図書整備 読書が困難な子 どもへのサービ ス 読書相談カウンター設 置等 (29 項目)</td> </tr> </tbody> </table>					家庭・地域	幼稚園・保育所 認定こども園	学校	図書館	ブックスタート 家読の推進等 (13 項目)	読み聞かせ実施 絵本スペース整 備等 (3 項目)	読書活動の推進 司書教諭・学校司 書の配置及び研 修充実等 (5 項目)	児童図書整備 読書が困難な子 どもへのサービ ス 読書相談カウンター設 置等 (29 項目)
	家庭・地域	幼稚園・保育所 認定こども園	学校	図書館									
ブックスタート 家読の推進等 (13 項目)	読み聞かせ実施 絵本スペース整 備等 (3 項目)	読書活動の推進 司書教諭・学校司 書の配置及び研 修充実等 (5 項目)	児童図書整備 読書が困難な子 どもへのサービ ス 読書相談カウンター設 置等 (29 項目)										
<p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">子どもの読書活動を社会全体で支えていく</p> <p style="text-align: center;">第 4 次子どもの読書活動推進計画の実施 (R 2 ~ R 7)</p> <p>令和 2 年度は、第 4 次計画の新規施策である市立図書館・学校図書館情報交換会を地区ごとに開催した。市立図書館が行っている学校への授業・読書支援についての説明や各学校図書館の活動内容の報告など、活発な意見交流の場となった。今後もこの場を活用して、市立図書館と学校図書館のさらなる連携強化に取り組んでいく。</p>													
事業目標 成果指標	児童書・絵本などの 整備	R1 実績	R2 実績	R3 目標値									
		260,830 冊	集計中	266,000 冊									

### 重点事業 3 4

事業名	図書館整備事業			担当課	中央図書館
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	R1 決算	R2 予算	R3 予算
			58,146 千円	106,026 千円	360,305 千円
事業目的	<p>快適な読書空間の提供と図書館機能の充実に向け、その基盤整備及び利用者サービスを図り、生涯学習ニーズに対応する。</p>				
事業内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <b>図書館整備・図書館資料の充実</b> </div>				
	<p>○図書館施設・機能の整備充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の安全確保、長寿命化及び備品の整備</li> <li>・資料の購入：図書及びAV 約25,500点 雑誌 約800点</li> </ul> <p>○読書バリアフリー法を踏まえた市民との協働による視覚障害者等を支援するサービスの提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアとの協働→音訳点訳図書の製作やサピエ活用、対面朗読の実施</li> </ul>				
					
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <b>◎図書館サービスの充実</b>  <b>◎利用者・貸出冊数の増加</b> </div>					
<p>福祉ボランティアとの協働により、継続して音訳図書や点訳図書を作成し、視覚障害者等への読書支援を行った。また、JR久留米駅への本の返却ポストの設置や本の有料宅配サービスの実施に加え、六ツ門図書館の休館日を水曜日に変更し、月曜日開館とした。</p> <p>令和3年度は、中央図書館のZEB化による空調設備等の改修工事や窓口集約化工事の実施に伴い、読書相談コーナー等を設置しサービスを拡大する予定である。さらに、図書館来館困難者サービスとしての移動図書館や団体貸出についても効果的な活用を行っていく。</p>					
事業目標 成果指標	貸出者数：360,000人 貸出冊数：1,470,000冊 (市民センター図書室等を含まない)		R1 実績	R2 実績	R3 目標値
			367,607人 1,414,135冊	集計中 集計中	370,000人 1,470,000冊